

特定非営利活動法人 九州コンクリート製品協会 Kyushu Concrete Products Association

2015秋季号 [vol.22]

発行責任者：松崎 秀雄  
事務局：熊本市中央区水前寺 3-9-5 (株)ヤマックス内(〒862-0950)  
NPO法人九州コンクリート製品協会  
編集責任者：上田 泰博  
発行年月：平成27年 3月



協定書調印後に握手をする  
国土交通省九州地方整備局・金尾局長と当協会・松崎会長

# 災害時における災害応急対策業務の 情報提供等支援に関する協定書 調印式

**速報**

## 国土交通省九州地方整備局と 「防災協定」を締結

### 「防災協定」を締結！

「災害時における災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定」をテーマに、当協会が危機管理委員会を常設化するなどして行政との協定締結を模索してきた取り組みが実を結び、去る3月6日(金)、福岡市で国土交通省九州地方整備局との調印式がとりおこなわれました。

**〈調印式の進行〉**

日時 平成27年3月6日(金)  
10時～10時30分  
場所 東福第2ビル会議室  
出席者 国土交通省九州地方整備局 金尾局長ほか3名  
九州コンクリート製品協会 松崎会長、中村副会長、茂森副会長

一 開式  
二 出席者紹介  
三 協定概要説明

※この取組みの詳細についてはP21の「危機管理委員会」活動報告をご参照下さい。

調印後、九州地方整備局・金尾局長が「九州コンクリート製品協会には日頃から九州地方整備局の社会行政に協力をいただき感謝している。東日本大震災や北部九州豪雨災害等が発生した九州では台風、豪雨、火山災害、南海トラフ地震や津波などが危惧される。災害が起きた際の九州地方整備局の使命は人命救助のため、道路啓開などがある。その際の迅速な復旧・復興にはコンクリート二次製品が有効であると期待している。また、事業所敷地の提供や被災状況を診断できる技術者の派遣も期待できることである」とあいさつ。その後、松崎会長が「この協定で災害発生時における我々の役割が明確となった。有事の際には存分に当協会を活用いただき、災害の未然防止や復旧・復興にお役に立てればと願っている。」と述べ調印式が終了した。

協定書調印  
国土交通省九州地方整備局長あいさつ  
九州コンクリート製品協会会長あいさつ  
閉式

### 九州コンクリート製品協会 会員名簿

会員会社名	県	住所	TEL
麻生商事(株)	福岡	820-0609 福岡県嘉穂郡桂川町吉隈 430-27	0948-20-2020
大野コンクリート(株)	福岡	819-0036 福岡県福岡市西区大字吉武 61-1	092-811-6677
(株) 柏木興産	福岡	812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田 1丁目 27番 1	092-473-7858
(株) 九コン	福岡	810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸 3丁目 4番 16号	092-741-5731
九州高圧コンクリート工業(株)	福岡	815-0035 福岡県福岡市南区向野 1丁目 13番 14号	092-554-6660
共和コンクリート工業(株)九州営業部	福岡	812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町 8番 24号	092-262-5755
小倉セメント製品工業(株)	福岡	802-0052 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘 3-11-10	093-921-0136
大建コンクリート工業(株)	福岡	838-0223 福岡県朝倉郡筑前町砥上 2220	0946-42-3131
中里産業(株)	福岡	822-1405 福岡県田川郡香春町中津原 2787	0947-32-2132
長谷川トラフ(株)	福岡	824-0022 福岡県行橋市大字稲童 3646番地 1	0930-23-1779
本田工業(株)	福岡	839-1342 福岡県うきは市吉井町生業 636	0943-75-4161
水谷建設工業(株)	福岡	825-0001 福岡県田川市大字伊加利 2193番地	0947-44-2111
安永セメント工業(有)	福岡	833-0012 福岡県筑後市大字溝口 920-1	0942-53-3329
(株) ヤマウ	福岡	811-1102 福岡県福岡市早良区東入部 5丁目 15-7	092-872-3301
大協コンクリート(株)	佐賀	842-0121 佐賀県神埼市神埼町志波屋 1956	0952-52-9763
不二コンクリート工業(株)	佐賀	843-0233 佐賀県武雄市東川登町大字永野 7552-2	0954-23-1211
馬渡商会(株)	佐賀	843-0001 佐賀県武雄市朝日町大字甘久 3498-2	0954-23-4145
H. O. C(株)	長崎	856-0835 長崎県大村市久原 2丁目 1533-2	0957-53-2112
三和コンクリート工業(株)	熊本	863-0021 熊本県天草市港町 16-13	0969-22-5124
土佐屋コンクリート工業(株)	熊本	860-0863 熊本県熊本市中央区坪井 6丁目 38番 15号	096-343-3855
不二高圧コンクリート(株)	熊本	861-4114 熊本県熊本市南区野田 1丁目 4番 72号	096-358-8585
南九州コンクリート(株)	熊本	866-0033 熊本県八代市港町 262番地の 26	0965-37-0124
(株) ヤマックス	熊本	862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺 3丁目 9番 5号	096-381-6300
(株) 和商一	熊本	868-0415 熊本県球磨郡あさぎり町免田西 3003-2	0966-45-1251
(株) 池永セメント工業所	大分	879-7761 大分県大分市大字中戸次 4763	097-597-3113
大建コンクリート(株)	大分	879-1313 大分県杵築市山香町速見インター工業団地	0977-44-6262
九州中川ヒューム管工業(株)	宮崎	880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20048	0985-73-1511
インフラテック(株)	鹿児島	890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎 2丁目 7番 25号	099-252-9911
鹿児島共和コンクリート工業(株)	鹿児島	892-0821 鹿児島県鹿児島市名山町 1番 3号	099-225-3881
(有) 太陽コンクリート工業	鹿児島	891-0144 鹿児島県鹿児島市光山 2丁目 1番 60号	099-261-6911
(株) 大建	鹿児島	891-1301 鹿児島県鹿児島市西佐多町 942番地 1	099-295-1151

※本文中のカットは馬出博文氏 (中津市在住)の作品です。  
※住所変更などある場合は、早めに事務局へご連絡ください。

会員会社名	県	住所	TEL
(株) 浜崎コンクリート工業	鹿児島	894-1508 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 1114-69	0997-72-1179
北南コンクリート(株)	鹿児島	891-3101 鹿児島県西之表市西之表 14175番地	0997-23-1878
(株) 技建	沖縄	901-1207 沖縄県南城市大里字古堅 1246番地	098-945-2787
麻生セメント(株) 福岡支店	福岡	814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜二丁目 4番 27号	092-833-5110
(有) 稲佐鉄工所	福岡	824-0043 福岡県行橋市大字流末 1138-1	0930-23-3233
宇島技研(有)	福岡	828-0022 福岡県豊前市大字宇島 522番 20	0979-82-2811
宇部三菱セメント(株)九州支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1丁目 12番 20号	092-752-6101
(株) オンガ	福岡	811-4301 福岡県遠賀郡遠賀町島津 464-1	093-293-3635
住友大阪セメント(株) 福岡支店	福岡	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1丁目 2番 5号	092-441-1441
(株) ダイクレ 九州支店	福岡	816-0931 福岡県福岡市博多区店屋町 5番 18号	092-262-8765
太平洋セメント(株) 九州支店	福岡	812-0018 福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25	092-263-8455
(株) チヨダマナリー 福岡支店	福岡	816-0912 福岡県大野城市牛頭 4丁目 4-21-102	092-596-8314
(株) トクヤマ 福岡支店	福岡	810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1丁目 14番 16号	092-732-6677
西村工業(株)	福岡	820-1111 福岡県飯塚市勢田 2067-9	09496-6-4117
日工(株) 九州支店	福岡	816-0931 福岡県大野城市筒井 1丁目 11番 28号	092-574-6211
日吉化学工業(株)	福岡	808-0074 福岡県北九州市若松区藤ノ木 3丁目 2番 39号	093-791-3233
ヒロセ(株) 補強土橋梁部	福岡	812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町 2番 1号	092-283-7320
福岡金網工業(株)	福岡	812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚 1丁目 3番 11号	092-621-3000
森山工業(株)	福岡	830-0075 福岡県久留米市大善寺町黒田 53-1	0942-27-1147
(有) 大東運輸	長崎	859-1414 長崎県島原市有明町大三東丁 671-1	0957-68-1800
(株) 不二宮製作所	熊本	864-0025 熊本県荒尾市高浜字前 1825-50	0968-68-1318
(株) 宝機材	岐阜	501-0222 岐阜県瑞穂市別府 1723-1	058-327-2222
トヨタ工機(株)	東京	183-0035 東京都府中市四谷 6丁目 12-8	0952-53-2131
(株) 日栄商事	岐阜	501-6236 岐阜県羽島市吉良町江中 7-16	058-398-3611
富国石油(株)	静岡	410-0011 静岡県沼津市岡宮 949番地の 8	055-921-4331

(平成27年3月1日 現在)

CONPAS は  
インターネットでも閲覧可能です!!

九州コンクリート製品協会 検索

九州コンクリート製品協会HPより  
Web Conpasのサイトに移動して下さい。

**編集後記**

当協会が平成16年6月に創設されてから間もなく10年にブラス1年を迎えます。そして当紙コンパスも11年目の春号を刊じます。この協会を愛し支え続けていただいた会員社の皆様、役員各位、賛助会員各位、学界正会員の先生方などまさに皆様のご支援のたまものです。そしてこの春は念願の「防災協定」を九州地方整備局と締結することになりました。災害多発国日本の防災に協会自ら積極的に取り組むという意思表示であり責任ある協会の地位を築くことになりました。

平成3年(1991年)全国コンクリート製品協会に加盟していた当時、九州支部のオリジナル協会誌「PCM」を創刊して14年間、そして九州コンクリート製品協会発足と共にコンパスの発行が10年間、通算24年の歳月が経ったことになりました。

「涓滴(けんてき)岩を穿(う)が」という諺がありますが、まさに小さな水滴が大きな岩を砕いていくような協会の歩みにも感じられます。

梅が咲いて、桜も間もなくです。これからもコンパスへのご寄稿をよろしく願います。

広報委員長(福岡)上田泰博 記

# 国土保全、インフラ整備に 役立てる協会を目指して

## ■平成26年度第一回例会 鹿児島市で開催



会場全景

平成26年10月7日(火)に、平成二十六年第一回例会「鹿児島市の城山観光ホテルで開催され、約60名が出席しました。開会に先立ち、例会の司会担当・森総務企画委員が自己紹介の下、松崎会長が以下のように挨拶しました。

### 〈会長挨拶の要旨〉

多発する災害への対策  
「昨年度の沖繩例会は台風接近で仕切り直しとなり今年の2月に開催されたが、今回も2日前に台風が通過し開催が心配された。最近



会長挨拶 (松崎会長)



都直下型大地震』や『南海トラフ地震』という壊滅的な被害が予想される大地震が近い将来起こるといわれており、このような大地震への耐震対策や津波対策が求められている。

また、最近では地球温暖化によるゲリラ豪雨が頻発しており、現状の排水機能では追いつかない豪雨の結果、街中が川のようになっている映像をテレビでよく見かけます。8月には広島で豪雨により土砂災害が発生し、多くの人が亡くなった。これらのゲリラ豪雨に対しても治山・治水事業や排水対策、地下貯留対策が急がれる。

さらには、ご存知の通り、9月27日に御嶽山が噴火し、50名超の方が亡くなりました。この火山について調べたところ世界には1,500の活火山があり、そのうち120カ所が日本にある。当地・鹿児島にも桜島という火山があり噴煙をあげている。今回の御嶽山の噴火による降灰量は40万㎡前後といわれているが、1914年の桜島・大正大噴火の際には20億㎡の降灰があり、今回の御嶽山噴火の5,000倍の噴出物が周辺を火山灰で埋め尽くした。もともと火山島であった桜島がこの噴火で大隅半島と繋がることとなった。このような大噴火は別にしても、火山付近では避難壕などの噴火対策も必要ではないだろうか。

### 適正価格での販売へ

先週、九州各県のコンクリート製品協同組合の連合会総会があり、各県組合が近況を発表した。昨年度はアベノミクスなどによる早期発注で出荷量が増加したが、今年度に入って出荷量が減少しているとのこと。九州全域で出荷量が減少している中、急激な円安などを背景に諸資材が値上げ基調にあり、今後も上昇基調が継続することを危惧している。

このような外部環境を勘案すると、今まで以上に適正価格での販売が重要となる。また、自然災害に対する新製品の開発やコンクリート製品の供給といった取り組みも必要である。当協会としても、九州・沖繩地区の国土保全、インフラ整備に役立てる協会を目指して活動していくので、会員全社のご協力をお願いしたい。

次頁につづく

学校の事務局長さんを超える。そして今年2015年は開講以来なんと40周年を迎え、750回の講座数になる。この1月には東大史料編纂所井上聡助教を迎えて記念講演会が無事に終わったばかり。開講当時は3年は続けたいと思ったとか。それがなんと40周年、Y・K氏ならではの準備と講師の交渉、その準備と資料の作成、案内などもすごいプロデューサー兼スタッフである。



さらに「街道や史跡をあるく会の世話人さん」を毎月行う。北九州市・小倉北区の紫川にかかる常盤橋を起点に長崎街道と豊前街道が始まる。その街道1コースを2年ほどかけてその中に点在する史跡をたどりながら会員の皆さんを案内して目的地まで踏破するのである。月に1回日曜日、予定のJR駅に集合してそこを起点に地図を見ながら旧街道に沿って1日5〜10キ

口ほど歩いて来月またその先の駅に集合次を歩き進める。街道だけではない。行橋駅から直方駅に通じる平成筑豊鉄道沿線の史跡や名所も踏破した。これも約2年かけて歩いた。旧街道も平成筑豊鉄道沿線も1回ではない、いずれも複数回歩いている。それは新しい会員さんたちのためであると同時にリピーターも同じ街道や史跡を歩けば毎回新しい発見と人々のコミュニケーションが広がるからである。

しかし、そのお世話は容易ではない。まず歩くコースの地図や史跡の資料作成と予想される参加者の把握、その人数分のプリント、現地ボランティアの郷土史家ガイドさんへのお願ひ、そして事前の下見。そんな煩雑な業務を毎月数人の加勢スタッフといとも簡単に片づけて当日涼しい顔でみんなを迎える。どこも都市化が進んで痕跡の消えかかった旧街道や史跡をその土地の郷土史家から説明を聞く、頭と体の両方が同時に鍛錬できる仕掛けだから中高年者には最高の楽しみ。年会費はわずか1000円、登録されているメンバーは150人を超えている。だから気候と天気の良い日には100名くらいのキャラバンになる。

1年に数回の史跡探訪バスツアーもある。いつもはまっすぐ歩くだけだがバスツアーではみんなが固まって行動するからいつもより仲間意識の輪が広がる。みんなで会食したり、温泉入浴など楽しい行楽の一日となる。

さらにY・K氏はもう一つ大きな仕事を抱えている。朝日新聞・京築版に週1回の「新・京築風土記」のシリーズ連載である。毎週写真付きで現地取材の記事を書く。これだけの枠組み記事を書く。毎週掲載するなど新聞記者も顔負けである。タイトルに「新」と付くから、旧がある。昭和52年(1977年)から「京築風土記」の初刊を執筆している。単行本にもなっている。

まさに京築に生まれて、京築に生きて、京築文化の守護神のような人である。ひたすら「郷土史」である。知的好奇心のある一般市民の皆さんが彼の回りに雲霞のように集まっている。京築



ただではない周辺の北九州市や大分県・中津市周辺からも参加者がたくさんいる。だから広域の「豊前の国」がY・K氏のステージである。そのほか講演や同窓会や町役など、とにかく忙しい人である。頭の回転と行動力と健康がなければできない。まず誰も氏の真似はできないと思う。

### ■ナンバー1とナンバー2の阿吽の呼吸

以上、Y・K氏のプロフィールを紹介しましたが、ここからはY・K氏がなぜスゴイ人であるかを考えたいと思います。氏の行動の根底にあるのは先に述べたように「人の喜ぶことは自分の喜びである」という考え方でしよう。つまり無条件に喜びをプレゼントする「喜びのサンタクロースさん」である。

自分を売り込んで立身出世や商売などに利用しようという人が多い世の中だから、野心家からみれば手の付けられない超人

である。大きさに言えば現代の西郷さんである。「金も要らぬ、名譽も要らぬ、命も要らぬ」と西郷さんは言った。新政府に不満を持つ不平士族と共に自分の意に反してまでも西南戦争で故郷の城山に散ったから鹿児島では圧倒的に西郷さんである。明治維新の礎を築いた同郷の大久保利通の人氣はその比ではない。

Y・K氏が主宰する会には必ず別に会長さんがいる。Y・K氏は常に事務局長か世話人である。当然のことかもしれないが、現場の仕事をする人はナンバー2でないといやりにくい。しかしここで大事なのがナンバー1とナンバー2の阿吽(あうん)の呼吸である。この呼吸が乱れると何事もうまくいかない。ナンバー2が常にナンバー1を支えて実績を横取りしない気配りが何よりも肝要である。

バカ殿様を支えて実権を握る家老や、政財界の黒幕などと呼ばれて表に躍り出てくる人物があるがこれでは何もうまくはいかない。会社でもナンバー1とナンバー2がお互いに利口でその職責に忠実であると社員からも信頼されて会社繁栄につながる。社長と専務の連携がうまくいけば社内に着いた活気がある。トップの和がいかに大切かが分かる。トップ中心だとワ

ンマンになってしまう。だからナンバー2の力量と分別がすべてを決める。

国も町も村も同じである。30年くらい前から日本全国各地で博覧会が盛んに開催されるようになった。それまで税金の無駄遣いだと言われてきたお祭りやイベントに「活性化」という名前のお金をつかうようになった。村祭りやイベントをおろそかにすると外からお客さんが来ない。町のお店や産物の売り上げも上がらない。そのうち町がすたれていく。しかしイベントに取り組んでうまくいけば町の収益が上がり、いつの間にか外部のお客さんを迎えるための橋や道路も立派になる。

家庭でも同じである。夫婦の仲がいいと独立した息子や娘が、孫を連れて里帰りしてきて家の中が賑やかである。そして家が栄える。反対に夫婦仲が悪いと子供や孫は実家に寄り付かなくなる。そして家がすたれていく。

Y・K氏のご家族はとも賑やかである。正月の年賀状には4世代にわたる大家族が揃って笑顔であふれている。永遠に栄える家や会社や町や村はこうあるものだ。

広告ディレクター 松山直英

# 春、こころ踊る 季節を迎えて

株式会社馬渡商会 松尾 平

以前も掲載させて頂きましたが、私は金魚の飼育を行っています。今、飼育しているのは、らんちゅうと東錦・鈴木東の2種類です。

毎年9月頃になると、「今年も思ったような金魚をつくること」ができずもう来年はやめよう」とその時は思うのですが、この季節になると今年こそは良い金魚をつくりたいと、こころ踊る気持ちになります。今年、らんちゅうと昨年産卵ができなかった鈴木東（鈴木さんという方がつくり上げた金魚で、現在は飼育をやめられた品種です）を是非つくってみたいと思います。



雄金魚



雌金魚

準備をします。気に入った金魚をつくるには、まず良い種親魚を選ぶことです。そして一番大切なことは水の管理と餌の与え方です。

今年、2月20日前後に産卵させる種親魚（雄・雌）を選び、水槽の水温を徐々に上げ20℃にして金魚を起す予定です。餌を少しづつ与えこの状態を1ヶ月程続けます。雌は腹が少しづつ膨らみ、雄は胸鰭に追星が確認されますが、雄・雌の見分け方はなかなか難しいです。

1ヶ月後から産卵が可能なたくになります。産卵は早朝から午前中にかけて始まります。水槽に産卵藻を入れて自然産卵させる場合と洗面器の中で雄・雌



鈴木東

を掛け合わせる人工授精の方法があり後者が受精率が高く主流ですが、タイミングが難しいです。卵は5日ほどで孵化し多いときは5〜6000匹の稚魚が誕生します。生まれた時は、体長2〜3mmの針子で全て黒色です。これを大きくするために与える餌はブライインシュリンプ（エビの卵）です。水温28℃の塩水で24時間攪拌して孵化し、これを濾過して稚魚に朝夕に与えます。とても手間がかかる作業になります。



入賞盾

この作業を2ヶ月程続け稚魚は成長していきます。成長した稚魚を幾度となく選別していく中で稚魚は黒子となり、色変わりをし素赤、更紗、白などの色が出、形が出来てきます。そして、6ヶ月後には体長2〜3mmの針子が12cmの成魚になるのでその成長過程を見守っていくのが金魚飼育の一番の楽しみですね。しかしながら、途中病気に罹って全滅したり、良魚が一匹もおらず全部処分することも多々あります。最終残る良魚は、数匹残れば御の字で、一匹も残らない場合も少なくありません。

愛好家は、このような弛まぬ努力を重ね、9月から始まる品評会を目指し、最終毎年11月3日に行われる全国大会（今年の名古屋で開催）で東大関（番付獲得に向けて自慢の金魚（らんちゅう）をつくり上げて行くのです。私も、楽しみながら少しでもレベルアップできるようなチャレンジしていきたいと思えます。



東取締



# 一流の人生(3)

「美夜古歴史学校」40周年のY・K氏 ■喜びのサンタさん

今回、ご紹介するのは福岡県Y市に住まれるY・K氏。身近でいまでも元気に活躍されているのでこの拙文の筆者も氏のことを書くことにはいささかの緊張がある。長く市の役所に勤めてそのうちの22年間を広報、10年余りを教育関係の仕事に費やしてきた。だから京築地方の郷土の歴史や文化を自分の足で細かく丹念に調べてきた実績を持つ、いわば京築地方の生き字引人間である。

教育関係と聞くと堅苦しい仕事に思えるが、まったく正反対のくつたくなのベレー帽の似合う自由人である。人に接するときはどんな人にも気安く気配りこまやか、頭の回転早く、ユーモアたっぷり、何事も手早く処理してしまう。とりわけ人の面倒見にかけては、まず文句なしに最高の百点、そのために生まれてきたような人である。つまるところモノやサービスを提供して報酬を享受する資本主義社会の異端者、一方的に与えるだけの人である。

随分昔の話だが、まだカメラがアナログしかなく頃のこと、ある結婚式の記念写真を撮ってそのまま現像屋さんへ駆け込んで、式の終わりに出席された皆さんにアルバムになったその写真を持ち帰ってもらったという逸話もある。デジカメのない頃みんなはその早業にどれほど驚いたか想像するだけでも愉快である。氏の茶目っ気である。「人の喜びことは自分の喜びである」を身をもって実践するのがY・K氏である。



おそらく市役所で仕事をしていた頃も毎日が遠足のように楽しく仕事は趣味のようだったに違いない。定年で退官された後は待ってましたとばかり、すでに75年から開講しているボランティア講座の「美夜古郷土史

## その他の主な報告事項

○理事會および各委員会の活動報告。最後に地元鹿児島県職員社の(株)浜崎コンクリート工業・濱崎社長が閉会宣言を述べて例會が閉會。

○例會終了後に「暴力団対策の実務」と題して、桃木野総合法律事務所・代表の桃木野聡氏が基調講演。

○会場を移動して懇親會開催。懇親會では次回例會開催地・熊本県担当の茂森副會長の開會挨拶に続き、KyupEC学界正會員として協會活動にご協力をいただいている鹿児島大学・武若教授が乾杯の発声。多数の参加者が欲談する中、同じく次回例會開催予定地の熊本県担当・岸川理事の中締めで盛會裡に懇親會が修了しました。



受付スタッフ



講師紹介 (松山総務企画委員)



講演御礼 (松崎會長)



閉會宣言 (濱崎社長)



閉會宣言 (尾堂理事)

○翌8日「九州かたまり會」第二十二回懇親ゴルフコンペ」が鹿児島ガーデンゴルフクラブで開催され、本例會のプログラムが全て終了しました。

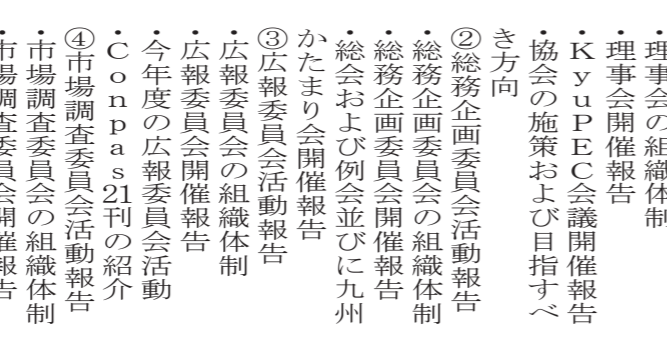
## 懇親會



鹿児島大学・武若教授の乾杯のご発声で懇親會がスタート



懇親會中締め (岸川理事)



懇親會司會 (入江理事)



基調講演講師 (桃木野聡氏)

日時 平成26年10月7日(火) 15時30分〜16時45分  
場所 城山観光ホテル(鹿児島)  
議事次第  
一 開會宣言(尾堂理事)  
二 会長挨拶(松崎會長)  
三 出席者数の報告  
正會員28社 学界正會員1名  
賛助會員15社 合計61名



例會司會 (森総務企画委員)

## 平成26年度第一回例會プログラム

- 特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会の確認
- ①理事會活動報告
  - ②理事會の組織体制
  - ③理事會開催報告
  - ④KyupEC會議開催報告
  - ⑤協会の施策および目指すべき方向
  - ⑥総務企画委員会活動報告
  - ⑦総務企画委員会の組織体制
  - ⑧総務企画委員会開催報告
  - ⑨総會および例會並びに九州かたまり會開催報告
  - ⑩広報委員会活動報告
  - ⑪広報委員会の組織体制
  - ⑫広報委員会開催報告
  - ⑬今年度の広報委員会活動
  - ⑭Conpas 21刊の紹介
  - ⑮市場調査委員会活動報告
  - ⑯市場調査委員会の組織体制
  - ⑰市場調査委員会開催報告
  - ⑱平成26年度市場調査回収状況
  - ⑲地区別調査結果(生産・出荷)
  - ⑳セメント用途別販売実績
  - ㉑九州地方整備局の予算総括
  - ㉒九州建設技術フォーラム2014開催告知
  - ㉓九州かたまり會開催案内
  - ㉔その他
  - ㉕閉會
  - ㉖(株)浜崎コンクリート工業 代表取締役社長 濱崎輝実

# 理事会及び各委員会報告



理事会開催報告  
(松崎会長)

①平成26年度第4回理事会  
日時 平成26年10月7日  
場所 城山観光ホテル

- ・総務企画委員会、広報委員会、技術委員会及び第1回協会型製品開発・導入WGの開催が報告された。
- ・協会型製品の開発・導入を協議した。
- ・平成26年度第1回例会の開催を協議した。
- ・会員増強を協議した
- ・第九回通常総会の日程調整を実施した。

## 総務企画委員会



総務企画委員会開催報告  
(岸川総務企画委員長)

①平成26年度第4回総務企画委員会  
日時 平成26年10月7日  
場所 城山観光ホテル

- ・平成26年度第1回例会の開催運営を直前確認した。

## 広報委員会



広報委員会開催報告  
(上田広報委員長)

①平成26年度第3回広報委員会  
日時 平成26年10月7日  
場所 城山観光ホテル

- ・協会広報紙「Conpas第22刊」の役割分担会議を実施した。

## 技術委員会



技術委員会開催報告  
(河野技術委員長)

①平成26年度第5回技術委員会  
日時 平成26年9月26日  
場所 ヤマックス 会議室

- ・平成26年度プレコン管理士技術講習会の実施報告と課題抽出を実施した。
- ・プレコン管理士に対する今後の対応を協議した。
- ・協会型製品開発・導入WGの会議が報告され、技術的内容を協議した。

技術懇談会の開催を協議した  
プレコン管理士に対する今後の対応を協議した。

## 協会型製品開発・導入ワーキンググループ会議



協会型製品WG開催報告  
(中村副会長)

①第1回WG会議  
日時 平成26年9月18日  
場所 八仙閣

- ・ワーキンググループの設置目的および経緯が説明された。
- ・協会型製品開発・導入の可能性について検討することを協議した。



市場調査委員会開催報告  
(本田市場調査委員長)

## 市場調査委員会

※Conpas 21刊発行以降の委員会開催はありませんでした。

③平成26年度第7回技術委員会  
日時 平成26年11月28日  
場所 ヤマックス 会議室

- ・平成26年度プレコン管理士試験実施内容を協議した。
- ・KYUPEC学界正会員との



# 九州の絶景シリーズ(第二回) 日本一の石段(釈迦院御坂遊歩道)

南九州コンクリート(株)

代表取締役社長 田畑 和章

今回から、不定期シリーズものとして、九州各地の風景写真を簡単な説明とともにお伝えすることにします。記念すべき第1回目は「釈迦院御坂遊歩道」の紅葉をお届けします。

九州のど真ん中、熊本県八代市と美里町の境に、熊本が全国に誇る「日本一の3333段の石段」こと「釈迦院御坂遊歩道」があります。釈迦院は延暦18年(799年)、桓武天皇の勅願により契善大師が草々とした山頂より緒正しき天台宗の寺院であり、山号は金海山(きんかいざん)とよばれ、最盛期は坊数75坊、末寺49院が建ち並ぶ「西の高野山」とも称された一大霊場だったといわれています。

しかしながら、天正年間(1573年・1592年)にキリシタン大名小西行長の寺院焼き討ちにあい、社領も没収され衰退しましたが、その後は加藤清正・忠広親子により再興され、熊本藩主細川氏により修復されて今の形となっています。「ぼっくり寺」とも呼ばれ、信仰すれば長わ

## 熊本県・釈迦院御坂遊歩道の日本一の石段と紅葉





# 賛助会員紹介コーナー

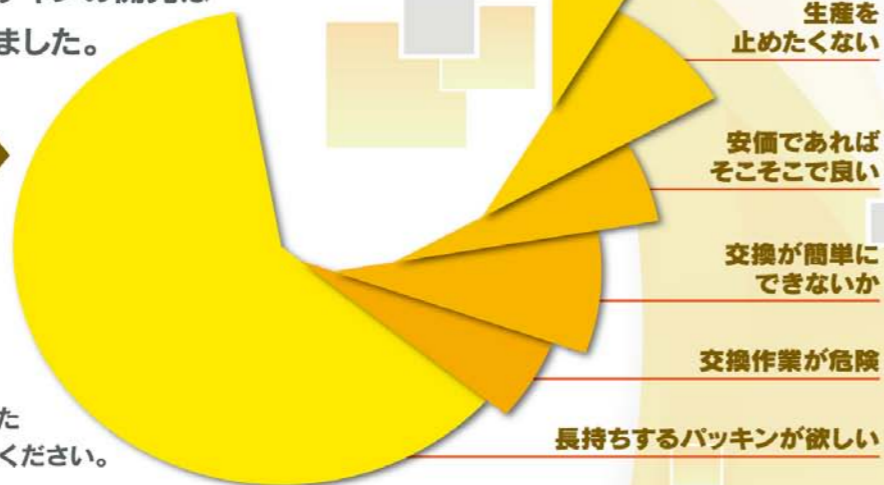


## お客様に喜んでいただける幸せパッキンを開発しました!!

良いコンクリート製品のために、  
型枠を良い状態に保たなくてはなりません。  
中でも、定期的に交換が必要なパッキンを  
長持ちさせることは、大変重要なことだと考えました。  
交換作業にかかる時間と手間を削減することは、  
お客様にとって負担を少なくし喜んでいただけること。  
新たなロングライフパッキンの開発は  
“幸せパッキン”となりました。

パッキンに関する  
お客様の声をグラフに  
してみました。

様々なお客様の声を元に  
素材を一から見直し、  
再検討し、作り上げました。  
既存品との比較試験を  
何度も実施して、できあがった  
幸せパッキンを、ぜひお試しください。



### 従来型と幸せパッキンの比較(当社比)



**森山工業株式会社** コンクリート型枠専門メーカー

[本社] 〒830-0075 福岡県久留米市大善寺町黒田53-1 TEL0942-27-1147 FAX0942-27-1148  
[鳥栖工場] 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-10 TEL0942-82-9522 FAX0942-82-9523

http://ganganya.com



### ■ 基調講演

# 暴力団対策の実務

桃木野総合法律事務所  
代表 桃木野 聡氏



【講師紹介】東京大学法学部卒業後、東京銀行（現三菱東京UFJ銀行）入行。大蔵省（現財務省）出向を経て、コロンビア大学およびニューヨーク大学ロースクールで修士号取得。ニューヨーク州で弁護士登録した。その後、東京三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）を退職し、照国総合法律事務所入所。24年1月に桃木野総合法律事務所を開所した。公職として現在、鹿児島市教育委員会教育委員、鹿児島県精神科医療審査会委員に就いている。

## I 暴力団（≒反社会的勢力）排除の流れの概要

### ① 政府指針

平成19年、指針（企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針）を策定。企業の対応方針とする。

- ★暴力団等の反社会的勢力とは通常の取引を含めた一切の関係を持たないこと
- ★反社会的勢力とは知らずに何らかの関係を有してしまった場合、相手が反社会的勢力と判明した時点や疑いが強まった時点で速やかに関係を解消すること」を明記。

### ② 暴力団排除条例の制定・暴排条項サンプル制定等

上記指針を受け、国、地方公共団体、各種業界団体等において、暴力団排除条例を策定したり、自主規制規則や取引約款に暴力団排除条項を設けたりするなど、暴力団排除のための広範な取り組みが行われている。  
※暴力団だけでなく、次の者との関係も根絶すべきとしている。

- ・共生者：資金獲得活動に協力し、威力を背景とした経済取引等によって利益を得て暴力団と共生する個人や団体
- ・密接関係者：暴力団と社会的に避難されるべき関係を有する個人や団体（暴力団員主催のゴルフ参加、頻繁に飲食、賭博などに参加すること）

### ③ 各企業における暴排条項導入および暴排条項に基づく取引解約の増加

- (例) 金融機関 → 暴力団員は金融機会との取引（口座開設や預貯金を含むすべて）ができない。
- ゴルフ場 → 暴力団員はゴルフをすると詐欺罪に問われる など

## II 暴力団排除に向けた企業の取組：全銀協銀取暴排条項

「誰が反社会的勢力なのか？」 「何を暴排条項に盛り込まなければならないのか？」を明記することが重要！！

### 属性表明（暴力団員でないことの確約）

銀行取引を行う本人および保証人は・・・

- ・暴力団 ・暴力団員 ・暴力団員でなくなった時から5年を経過していない者 ・暴力団準構成員
- ・暴力団関係企業 ・総会屋等 ・社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団など ・その他これらの準ずる者に該当しないことを表明し、かつ将来にわたって該当しないことの確約が必要。

そのうえで・・・

- 1 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
- 2 暴力団員等が実質的に経営に関与していると認められる関係を有すること
- 3 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
- 4 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
- 5 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に避難されるべき関係を有することの各号に該当しないことを確約することが必要

### 行為表明（暴力行為をしないことの確約）

上記の属性表明で暴力団との関係がないことを表明したうえで、以下の行為をしないことを確約する。

- 1 暴力的な要求行為
- 2 法的な責任を超えた不当な要求行為
- 3 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- 4 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴行（銀行）の信用を毀損し、または貴行の業務を妨害する行為
- 5 その他前各号に準ずる行為

銀行に対するいっさいの債務の期限の利益を失い、ただちに債務弁済をしなければならない。  
手形の割引を受けた場合は、全部の手形について手形面記載の金額の買戻債務を負い、ただちに弁済しなければならない。  
銀行に損害が生じたときは、本人もしくは保証人がその責任を負わなければならない。

### III 暴力団に関連する裁判例：企業と反社会勢力との契約解約

＜属性として現役の暴力団員Xに対する錯誤による契約無効を認めた事例＞

利用契約解除は不法行為として賠償請求（250万円）

指定暴力団員Xら

Pホテル

暴力団員であることを理由に規約に基づく解除などを主張

#### 事案の概要

- 1) Xらは平成20年11月9日ころ、平成21年2月8日の結婚式披露宴を実施する利用契約締結をし、予約金を支払った。 ※申込時にはXが勤務先を〇〇(株)と記載し、暴力団員であることは明らかにしていない。
- 2) その後、Xらはホテルに何度か赴き、打合せをした。
- 3) 平成21年1月、ホテル総支配人は警察当局からXが暴力団員であることの情報を得たので、同年1月9日に解約申し入れを行うも、合意解除を拒絶される。そこで、21年1月15日に規約に基づいて解除通知した。(規約：暴排条項)

#### 争点（解除の正当性）に関するXとホテルの主張

【Xらの主張】

- ★挙式まで30日をきって一方的に解除されたものであって不法行為に該当する。
- ★暴力団員といえども、①結婚式を挙げること自体が公序良俗に反するとか、②暴対法が禁止する「義理がけ」に該当するとの解釈は憲法13条に反するものである。
- ★解除により、同日別会場にて結婚式披露宴を実施し、同ホテルよりも高額かつ準備もできず様々な障害が発生したため、原告ら1人あたり50万円（合計100万円）、弁護士費用25万円をホテルが負担すべき。

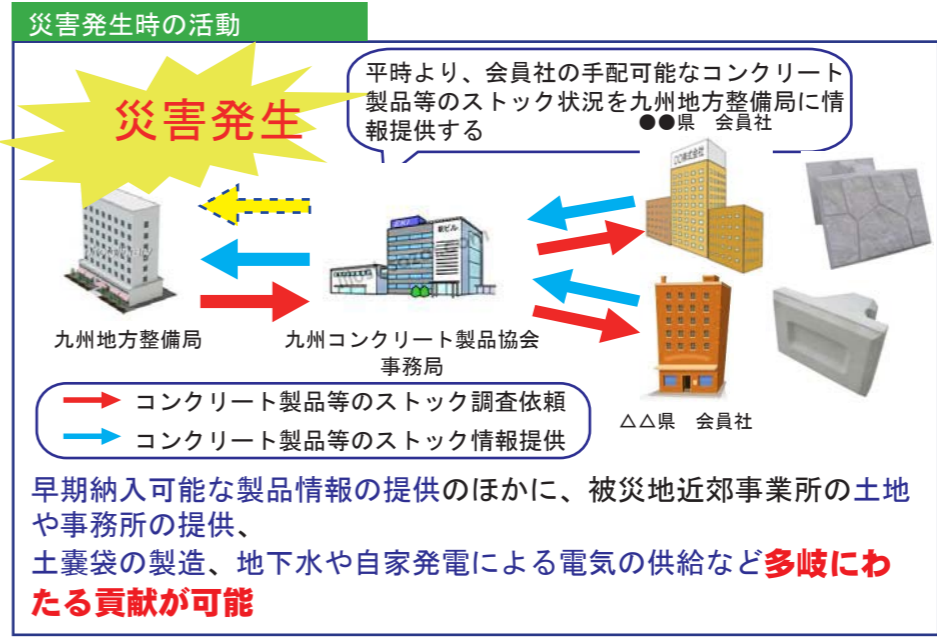
【ホテルの主張】

- ★規約に基づく解除
  - 平成21年1月にXが暴力団員と知ったので、以下の規約に基づき解除
    - ・・・ 成約後にその事実が判明した場合には、その時点で直ちにご利用をお断りいたします・・・
- ★錯誤
  - 契約申込者が暴力団員であるか否かは重要な要素であり、仮にXが暴力団員であるを知っていたならホテルは契約を締結しなかった。本件契約のホテル意思表示は錯誤があり無効となる。
- ★公序良俗違反
  - ホテルで挙式披露宴を行うことにより、暴力団関係者から「義理がけ（祝金）」名目で暴力団活動のための募金活動を行うことから公序良俗に反し無効である。
- ★正当防衛類似行為
  - 結婚式を行うことによる暴力団員による発砲、襲撃等さまざまな事件が発生することが予見されたため解除した。また、契約を解除により危険が差し迫らず正当防衛には該当しないが、契約を履行すれば危険が発生することが明らかであったことから予め解除することが許される。
- ★情報提供義務違反の債務不履行による解除
  - Xは以下のことを知っているにもかかわらず、自らが暴力団員であるとの情報を提供すべき義務があったが、それを怠った。
    - ①暴対法 ②企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針 ③当該企業の規約など

#### 裁判所の判断

- 1) 暴力団員がホテルで結婚式を挙げること自体が、①公序良俗に反するとか、②暴対法が禁止する「義理がけ」にあたるとの解釈をとるには躊躇される。
- 2) しかし、暴力団員がホテルで挙式すると、通常人の挙式とは異なり暴力団員が多数参加することによるトラブルも懸念される。(本件では暴力団関係者の参加予定はなかったとのことであるが、ホテル側からするとその真偽を容易に確認できない)
- 3) そこで、トラブル防止のため警備態勢をとることを検討しなければならないが、①万一の事態に備え、厳重な警備態勢をとるとすれば相当なコストがかかり、②他の客のキャンセルも予想され(同日の利用予定者には警備を要する挙式があることを告げないわけにはいかない)、③暴力団とのかわりを避けるべきであるという最近の社会情勢からすると、当該ホテルの信用失墜にもつながるところであり、当該ホテルにとって不利益が大きい。
- 4) そうすると、当事者が暴力団員かどうかはホテル側にとって挙式の契約をするかどうかを判断するうえで重要な事項であり、これを知らなかったとすれば単なる動機の錯誤にとどまらず、要素の錯誤に該当すると解される。

次項につづく



現在模索している九州地方整備局との防災協定のイメージで、今後実施すべき情報整理について、災害発生に先立つ「コンクリート製品等のストック状況」の把握が必要となります。

今後、この取り組みを推進し、行政との協定締結を実現させるために、事前の様ざまな情報収集・整理を実施してまいりますので、会員全社のご協力をお願い致します。

### 環境素材である木材とセメントのハイブリッド商品開発に向けて

株式会社和商一 企画開発課顧問 加藤 亮

「山の恵みを豊かな海の再生へ」というテーマを掲げ海の自然を再生する藻場造りに取り組んでいます。

現状は主に、人吉球磨の公共工事などの活発な需要に支えられ、前向きに進むことができませんでした。しかし、コンクリート業界の前途を見据えたときに、高齢化の問題、公共事業の削減、技能労働者の大幅減少と不安材料が山積しています。このような状況の中で当社の進むべき道はと考えると、循環型事業への取り組みの中で持続可能な発展を模索すべきではないかと思いに至りました。

当社は、球磨・人吉盆地の中心に位置し、山また山に囲まれた山地に立地しています。この山林を当社の事業に取り組みむことはできないかと考えたときに、熊本県の方から話が上がっていた木毛セメント板という、木材とセメントだけで作られた環境素材のボードに出会いました。この素材は、針葉樹の杉・檜松が主力の原料で、その木材をスライスして繊維化し、セメントとミックスをさせ高圧プレスで



間伐したあと放置されたままの山林

圧縮し乾燥したものが製品になるので、皆様のご存知の通り、山床に行きますと、製品になる用材は搬送されているのですが、その後は製品になりにくい間伐材や端材が放置されているのが現状です。このような端材を木毛セメント板では材料として繊維化し、工業製品化することが出来る、ということでした。



木毛セメント板沈設状況

林関係の方々にも注目されつつあるところですが、地球上最大の再生産可能な資源である木材、この資源を活かして、海藻が繁殖する環境をつくることこそ海の再生への早道だと思えます。逆転の発想製品で大変面白く、世の中で喜ばれる商品になると考え、当社としては取り組みむことにしました。



アカモクの海中林

木毛セメント板という商品は、大正十二年の関東大震災時にドイツから新建材として日本に輸入されたのが初めてと言われています。しかし、現在は日本古来の新建材として公共事業等に使用されています。その新建材をここ数年、海藻について研究開発を進め、写真のように海中林をつくり育て、魚が集まり産卵し稚子魚の成育場として提供することが出来ております。現在当社では、東北から以南では最大といわれるアカモク(4〜5m位)と潮の干満で干上ったり、水をかぶったりして育つヒジキ(50〜100cm位)の2種を成育させています。ご要望等がありましたら、ワカメ、コンブ等の養殖もすることが出来ます。

平成二十七年は環境省の方から有明海、不知火海の環境改善に取り組みというところで、初年度に約一億円前後の予算を設けてやってみようとの話が県の方に上がつっているようです。その方々から私共の木毛基盤材は、今までの実証試験の結果を見てみると、よく海藻が付着するという答えはでているので申請されるならば検討材料の一つとして入れておきます、と言われています。それが決まると私共への割当てはどの位かわかりませんが、楽しみだとはりきっています。

# 危機管理委員会

1面でもご紹介しました通り、九州地方整備局との防災協定が締結されました。皆様のこれまでのご協力への御礼と今後のさらなるご協力をお願い申し上げます。

災害大国である日本では、有史以来幾多の地震・台風・火山活動等による大きな災害により、人命及び財産に多大な被害が生じてきました。近年、産官学による「防災・減災」に向けた様ざまな研究及び施策が功を奏して、被災のレベルは比較的軽減されてきましたが、それでも大規模な災害に対しては対応できていないことが実情であり、そのような状況で災害発生時の迅速な復旧活動は被災者の

人命及び財産を守るために非常に重要な課題となっています。我々、公共事業に携わる民間企業及び業界団体が率先して被災時の状況確認及び災害復旧に向けての迅速な協力体制を確立し、有事に際しての対応に積極的に参画することによる社会貢献が求められているなか、当協会では危機管理委員会を常設委員会として設置しました。



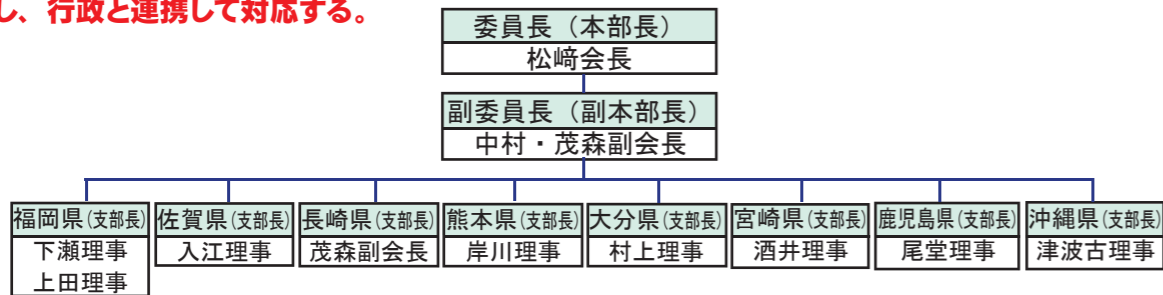
危機管理委員会活動報告 (岸川理事)

## 危機管理委員会設置の目的

九州唯一の業界団体として、災害発生時に対する早急な官民連携による復旧活動を推進するために、直接・間接に関わらず積極的に施策を実施することにより、**社会貢献を果たす**。

## 危機管理委員会の組織体制

危機管理委員会は**会長所管の特別組織**として設置し、災害が発生した際には**防災対策本部を設置し、行政と連携して対応する**。



災害が発生した際に『協会が出来ること』を整理、行政とのこれまでの協議の中で『何が求められているのか?』を検討してきました。具体的には①有資格者による被災状況の診断、②土地、資機材、事務所などの提供による後方支援、③必要とされるコンクリート製品の提供などがあげられます。基本的には**後方支援としての活動を**求められることが想定されますが、そのためにも「協会に**(最低)何が出来るのか?**」ということを**確認する覚悟が必要**となります。また、この取組みが**ボランティアとしての取組み**であることを会員全社が認識する必要があります。



## 災害に先立っての活動

- ★会員社の事業所情報を**毎年調査し、情報を更新**する。  
(所在地、製造可能分類、有資格者数など)
- ★協会ホームページの**事業所マップ**に最新情報を掲載
- ★行政に対してこれらの情報を**開示・PR**し災害発生に先立って**協会会員社の情報の周知**を図る



行政との災害発生時の協力体制を構築するために、平時の際に会員社の事業所情報やコンクリート製品等のストック状況など様ざまな現状把握が必要となります。毎年1回実施している会員社事業所情報調査等により、連絡体制の構築や現状の事業所情報の把握などを実施し、今後は**行政との『防災協定の締結』**を目指して活動を推進

## 前項より

- 5) このことは民法567条ないし570条(対価関係の均衡を欠く場合に解除を認める)の法意等に照らしても、是認されるべきである。
- 6) また、このように解釈したとしても本件契約当時の社会情勢からみて、あながちおかしなことではなく、ホテルの内部において規約があるだけでなく、例えば社団法人日本プライダル事業振興協会のモデル約款にも上記規約と同旨の規定があるなど、**一般的にも予測可能**といえる。
- 7) よって、被告の**錯誤の主張には理由が有り**、本件契約におけるホテル側の意思表示が無効となるから、**本件契約も無効**となる。

## IV 暴力団の主な共通項および対処方法

### <暴力団があらわれた場合の対応>

#### 暴力団の主な共通項

- 1) 定期購読などの不当要求にあたり、企業に要求の基礎となる事実及び責任がない場合であっても、**何らかの口実をもうけて不当要求を行ってくる**。また、要求の基礎となる事実があるとしても大げさに取り上げる。
- 2) いったん企業との話し合いのきっかけができると、当初の要求からはずれて、応対した企業の担当者の態度が悪いとか、**1つの切り口から派生的に問題を膨らませていく**。
- 3) 過去の事実で企業側が反論しようにも、証拠がないことを持ち出す。
- 4) 揚げ足をとったり、根拠のない言いがかり的発現を行う。
- 5) 「トップはどこだ」とか「トップの自宅に行くぞ」などといって決裁者との直接交渉を望む。あるいは担当部署のみならず関連部署に要求をつきつけ、**決裁者がでてこざるをえない状況を作りだす**。
- 6) その筋の人間であることをうかがわせるような名刺を示したりして圧力をかける。
- 7) 情報がどこに漏れると困るかを念頭に、たとえば監督官庁への通報を行うといった可能性をおわせる。
- 8) 早朝夜間にかかわらず電話をしたりしてきて、一旦電話で話したすと長時間話し続け、また面談の場合には「すぐに〇〇に来い」とか、一旦その場所に出向くと長時間にわたって軟禁状態にして**責任があることを前提とした謝罪を含めた何らかの言質を取ったり、一筆書くまで帰れないようにする**。
- 9) 今回問題となった事実以外の過去の事実を持ちだしたりして、弱みをつくるとともに論点を拡散させて、企業の立場が劣位になったところで、**誠意を見せろという発言を行う**。
- 10) 企業に責任がまったくない場合であっても、「人としてどうすべきなのか」などと言い放ち、**道義的責任に基づいて何らかの金銭的解決に持ち込もうとする**。
- 11) 一度金銭的解決がなされたとしても**新たな来襲が予想される**。

#### 暴力団への対処方針

##### 1 大前提

- ア 相手方から指摘された**事実の有無、責任の所在の確認が大事**。従って、相手方が通常の市民か、社会脅威集団か、クレーマーかにかかわらず、当初の対応は同じである。
- イ **金銭要求には屈せず**、毅然とした態度をとる。
- ウ **警察と裁判所を味方につける**。

##### 2 社会脅威集団による不当要求であるかの見極め

- ア 相手から聞き取るべき内容
  - ①要求している**相手方の特定を行う**、要求する権利がある人と交渉窓口の人が違う場合はその交渉窓口の人の特定も行う。
  - ②要求の**内容を正確に聞き取る**。
  - ③要求の**基礎となる事実について証拠があるかを確認し**、証拠があるのであればその提出を求める。
- イ 相手方から聞き取るにあたっての**とるべき態度**
  - ①相手方の要求を聞く場合は、**相手方の言葉遣いに反応せず**、感情を抑えて淡々と事実関係を聞く。
  - ②相手方の要求は、**正確にメモをとるとともに**、録音しておくのが望ましい。
  - ③当初からあやしいと思っても、**対応は平等にする**。
  - ④すぐに確認できる事実は速やかに確認するなど**迅速な対応**を行う。
  - ⑤明確に企業に**非がある場合には、素直に謝罪**する。

##### 3 社会脅威集団による不当要求である場合の対処(怪しい場合も含む)

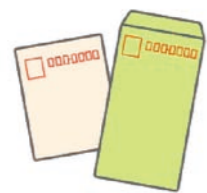
- 1) 相手を確認する(本人なのか代理人なのかあるいは第三者なのか)
- 2) 用件を確認する(何が目的なのか相手から言わせる)
- 3) 有利な対応場所を選定する
- 4) 湯茶の接待はしない
- 5) 対応の人数は常に相手の優位に立つ
- 6) 対応内容を詳細に記録化する
- 7) 対応時間を明確に区切る
- 8) 言動に注意する
- 9) 相手の要求に即答や約束をしない(あいまいな対応はしない)
- 10) 書類は作成せず、署名、押印をしない
- 11) トップには対応させない
- 12) 機を失せず警察に通報する



### V 暴力団への対応手段

＜暴力団があらわれた場合の法律的な対応＞

公開質問状など



「弱者からまきあげている不当な利益を  
社会に還元せよ！！」 などの要求がきた場合



反社会勢力からの手紙は、いかにもという文体で  
作成されているので、ピンとくるはず！！

- 1 警察に相談する  
日頃から警察（県警など）とすぐに連絡が取れる体制をつくっておく必要がある
- 2 弁護士に相談する  
暴力団自身が顧問弁護士をつけて難しい用語で迫ってくる  
→ 法律家をたてて対抗すべき  
→ 顧問弁護士がいない場合は、民暴弁護士（弁護士会の民事介入暴力対策委員会の弁護士）に相談

毅然とした対応が重要  
(はじめが肝心)



それでも相手が折れない場合・・・  
(街宣車による脅迫、会社への執拗な電話など)

法的手段の4つの流れ



#### ① 仮処分 行為を止めさせる！！

- 自分がして欲しくないことがあれば裁判所から相手に禁止命令が出せる
- ★ 毎日会社に押し掛けてくる → 会社に来ないように命令できる (面談強要禁止)
  - ★ 毎日会社に電話してくる → 会社に電話しないよう命令できる (架電禁止)
  - ★ 街宣車が会社の前まで来る → 街宣しないよう命令できる (街宣禁止)
- ※ 録画や録音、履歴などの証拠を作ると仮処分が認められやすい！！

#### ② 仮差押 財産を差し押さえる！！

- 嫌がらせを受けることによる被害の賠償ができる
- ★ 近隣に暴力団組事務所があることによる苦痛に対する損害賠償請求 など

#### ③ 本訴 訴訟を起こす！！

ここまでくれば、ほぼ相手が折れる

#### ④ 間接強制 制裁金を払わせる！！

- 仮処分命令に違反した場合、違反者に制裁金が課せられる
- ★ 制裁金が膨らめば、強制執行などで相手の財産を差し押さえられる

財産の要求に対しては、財産の没収で対抗する！！

暴力団に対抗するのに、この4つの流れだけで大丈夫なのか？



一度暴力団につけ込まれると、なかなか手が切れない場合が多い。また、過去には暴力団による一般市民の殺害事件などが発生したこともあったが、現在では暴力団と少しでも関係があると企業としての信用が失墜してしまうことも事実である。まずは暴力団と縁を持たないことが重要である。特に暴力団組事務所の撤去は暴力団対策で最も難しいこととあげられるが、この4つの流れで鹿児島県の事件は解決され、その効果が最近では久留米や佐世保にも波及した。

日常から暴力団対策を念頭におき、暴力団と関係しないことが重要！！

## 協会型製品 開発・導入ワーキンググループ会議

協会設立以来、たびたび議論にあがった「協会型製品」の開発・導入について、様々な観点からあらためて検討することとなりました。ここで、その経緯と現在の状況を説明します。

### 協会型製品開発・導入ワーキンググループ設置の経緯

#### 会員増強の観点から・・・

協会に参画するメリットとして以前より「協会型製品の開発」についての要望があった。

#### 行政との防災協定の観点から・・・

「九州統一タイプの積ブロック」を開発し、災害発生時には会員社のどこからでも供給体制が整っていることをPRする。

#### プレコン管理士活用の観点から・・・

プレコン管理士の活用として各工場の検査員補助の役割を模索しているが、多岐にわたる製品類を検査することは現実的ではない。そこで協会型製品を開発し、当面の間はプレコン管理士がその製品を検査する「検査システム」を構築することを検討。

#### KyuPEC会議より・・・

現在の協会活動は技術的視点とボランティア的な活動に偏っている。もっと利益に直結させるために、これまでの各県タイプ製品を排除するなどして「九州統一協会型製品」を開発してはどうか？との意見あり

### 協会型製品の開発もしくは導入を検討するための ワーキンググループを設置することとなった

協会型製品の開発・導入については、①会員増強の観点で、協会型製品の開発・導入による協会に参画するメリット創出、②行政との防災協定等の観点から九州統一タイプの積ブロック開発、③プレコン管理士の活用の観点から検査の実施、④KyuPEC学界正会員からの提案と今後の連携を踏まえて、協会型製品の開発・導入を検討するためのワーキンググループが設置されました。

### 協会型製品開発・導入ワーキンググループの構成と第1回会議開催

#### 総務企画委員会

- 【役割】 開発・導入についての総務的役割を担当  
【担当】 岸川理事、入江理事

#### 市場調査委員会

- 【役割】 開発・導入についての販売方法・市況調整等の役割を担当  
【担当】 中村副会長、池永理事、木上委員（実務担当）

#### 技術委員会

- 【役割】 開発・導入についての技術的役割を担当  
【担当】 河野委員長、山本副委員長

#### 第1回会議

開催日：平成26年 9月18日（木） 開催地：八仙閣（福岡市博多区）

【会議での意見および今後の対応】

★ 開発・導入のテーマが「大型ブロック」であるが、すでに各社がオリジナル製品を開発しているため、ハードルが高い。他にも市場・規格が確立されておらず、将来性が見込まれる製品の開発・導入も検討する。

☆ まずは、以下の対応を実施する。

- ① 大型ブロックについては、現在各社が製造している製品を調査・整理して次の検討に進む。
- ② 市場・規格が確立されておらず将来性が見込まれる製品として「自転車道」を対象とし、現在各社が製造している製品を調査・整理して次の検討に進む。

このワーキンググループの構成は、開発・導入についての①総務的役割を担当する総務企画委員会、②販売・市況調整などの役割を担当する市場調査委員会、③技術的役割を担当する技術委員会から人選、担当副会長として中村副会長を中心に選抜されたメンバーで作業を実施しております。

協会型製品のテーマとして現時点では「災害復旧」があげられており、大型積ブロックを対象として検討してありますが、すでに各社がオリジナル製品を開発しているためハードルが高いことが懸念されています。そこで、会員全社が協力して導入できる「市場・規格が確立されておらず将来性が見込まれる製品」として自転車道の開発・導入もあわせて対象となりました。今後『大型積ブロック』と『自転車道』についてワーキンググループで情報収集・整理し、協会型製品の開発・導入に向けての検討を実施してまいります。

テキストについてのご質問・ご用命については、事務局までお知らせください。あわせて、今年度のプレ

コン管理士制度スケジュール及び技術講習会スケジュールは以下の通りです。

今後の技術に関する各種スケジュール

Table with 2 columns: Date, Event Name. Includes 'プレコン管理士制度' and 'コンクリート診断士' sections with dates from 2014/3 to 2015/3.

会員社の技術力向上のために、多数の皆様の受講・受験をお待ちしております！！

技術委員会としては、今年度から「コンクリート診断士 試験直前講習会」と「プレコン管理士講習会」の2本立てで講習会を実施します。

※各種講習会や試験についてご不明な点などあれば、遠慮なくお知らせ下さい。
※試験や講習会等の案内は協会ホームページ (http://www.k-conpas.jp) でも随時お知らせしております。

第2回プレコン管理試験実施のご案内

日時：平成27年3月20日(金) 9:50~12:30
場所：グランメッセ熊本(熊本県益城町)
資格要件：平成25・26年度のいずれかの講習会受講者(要 受講修了番号)
申込期間：平成26年1月16日~2月20日(申込書事務局必着)

ハテナ・・・? KCクイズ

<問題>

- Q1 コンクリート製品を指すとき「プレコン」と略称が使われることがあるが、その正式名称は?
Q2 大型のコンクリート製品の場合、運搬可能な大きさに分割して製作されることがある。このように分割された製品のことを一般的に何と呼ぶか?
Q3 日本最古の鉄筋コンクリート造集合住宅が建てられたと言われる長崎県にある島の名前は?
Q4 同配合のフレッシュコンクリートを養生するとき、標準養生と蒸気養生ではどちらが強度が大きくなるか?
Q5 次の語句を正しく組み合わせよ。
①モルタル a セメントと水を練り混ぜたもの
②セメントペースト b セメントと細骨材(砂)と水を練り混ぜたもの
③コンクリート c セメント、細骨材、粗骨材、水を練り混ぜたもの

- Q6 ダムや橋梁など大塊状に施工されるコンクリートのことを何というか?
Q7 日本最古のコンクリート電柱の断面は?
①円形 ②四角形 ③五角形 ④六角形
Q8 ポルトランドセメント発祥の地は?
Q9 高炉セメントB種と分類されるものは高炉スラグの分量が全体の30%から何%までのものか?
Q10 セメントは中国語でどう書くか?
Q11 コンクリートにプレストレスを与える方式として、あらかじめPC鋼材に緊張を与えた状態でコンクリートを打ち込む方式とコンクリート硬化後にPC鋼材を緊張する方式がある。それぞれ何方式というか?
Q12 コンクリート製品業界で最も権威のある資格制度(?)が平成25年度本協会より発足しました。その資格とは?

▽ 解答は24ページ

展望



会長 松崎 秀雄

厳しい現実への対応は、協調・協力で！

特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会

会長 松崎 秀雄

春陽の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
昨年の春頃までは、国土強靱化に伴う大型補正予算の執行や、民間のメガソーラー建設ラッシュによる特需、平成24年に発生した北部九州災害の復旧事業等があり、九州においては久しぶりに活況を呈し、バブル期を彷彿させるような状況であつたように思います。

しかし、平成26年度におきましては、当初予算額は相応に確保されたものの、平成25年度の補正予算が前年度の補正予算と比べかなり縮小されたこと、北部九州災害の復旧も目処がつかないこと、更にはソーラー架台の製造および出荷も電力会社との関係で工事着工となるか予断を許さないことから、昨年の春以降、我々二次製品業界における製品出荷は急激に減少しており、対前年とはうって変わった厳しい状況にあります。

こういつた状況にありますと当然ながら、平成26年度の補正予算に対する期待は高まりますが、ニュース等で報道されているように国民の景気高揚感を煽るべく個人消費を刺激する政策に重きが置かれるだろうことが予想されております。
周囲の現状の厳しさは充分理解するところではあります。それらを踏まえて今後、業界が対処すべき課題として次のような問題があるように思います。

①公共予算が維持メンテ・管理へと大きく舵をきったことへの対応
②当業界への要求水準アップに対する知識・ノウハウの不安
③業界で働く人々の高齢化と若年層へのアピール不足による雇用率低下
④遅々として進まない日本のP Ca化率への業界としてのアピール不足
⑤業界として変わらない公共予算依存型の体質
⑥円安による原材料価格の高騰
このように指を折れば、枚挙

にいとまがないくらい懸念材料を今、我々の業界は抱えております。ただ、問題の中には、昨年4月に国交省だけでなく財務省も「人手不足対策にはプレキャスト製品の活用を」と提言していただくというようなありがたいフオーワーのお話もあり千載一遇のこのチャンスにどのような形で答えていくかも我々業界に課された大きな課題のひとつであります。
こういつた状況とコンクリート製品固有の問題を業界全体で少しでも変えていこうというところで、昨年8月には道路プレキャストコンクリート製品技術協会が発足しました。参加企業88社という大きな組織で、九州からも複数社参加されており、九州コンクリート製品協会の取組みにも良い影響が波及し、今までのノウハウ・経験・知識だけではクリアできない課題が解決される方向に進むことを大いに期待するところであります。
厳しい現実ではありますが、我々は今までも「幾多の試練」を乗り越えてまいりました。この

厳しい状況をチャンスと前向きに捉え乗り越えていくためには、今まで以上に各エリアでの協会員各社の強固な協調・協力の体制の構築が必要不可欠であると考えます。本協会がリーダーシップを取り協会員各社の支援を行うことと、引き続き「産学官」との協調と「維持メンテのノウハウをもつ業界の情報収集」を積極的に行うことで、業界の抱える課題の解決と業界の末長い発展に寄与していきたいと考えております。
「朝の来ない夜はありません」今後とも、当協会に対するご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。



九州建設技術フォーラム 実行委員会参考報告

「建設技術の開発・活用・普及促進のために、産・学・官(企業・大学・行政)それぞれが新技術の開発・活用の最新情報等に関する取組みについて情報を発信・交換し、技術情報の展示、プレゼンテーションなどの形をとりながら連携を深め、九州における更なる建設技術の発展を目指す」とを目的として、昨年引き続き、平成26年10月22・23日の2日間、わたって福岡市・福岡国際会議場で九州建設技術フォーラム2014が開催され、当協会の会員社からも技術情報の出展をいただきました。今年度のフォーラム開催概要は以下のとおりです。

九州建設技術フォーラム実行委員会 名簿

- 副委員長 日野 伸一(九州大学副学長)
委員 国土交通省九州地方整備局 企画部長
福岡県土木整備部長
(社)日本建設業連合会九州支部長
(社)福岡県建設業協会会長
(社)建設コンサルタンツ協会九州支部長
(学)公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部、(社)九州橋梁・構造工学研究会
(産)一社)日本道路建設業協会九州支部、(一社)日本橋梁建設協会九州事務所、(一社)日本建設技術協会九州事務所、(一社)日本建設技術協会九州事務所
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部、(社)日本埋立浚渫協会九州支部、(一社)全国測量設計業協会連合会九州地区協議会、(一社)全国特定法面保護協会九州支部、(社)九州建設弘済会、(社)九州地方計画協会、(社)北部九州河川利用協会、(一社)九州建設技術管理協会
(発注機関)九州地方整備局 企画部・港湾空港部・九州技術事務所・下関港湾空港技術調査事務所、福岡県、福岡市、北九州市、(独)水資源機構筑後川局、福岡北九州高速道路公社、西日本高速道路(株)九州支社

**「品確法の改正」及び「災害時の対応」について**

九州コンクリート製品協会の皆様方には、平素より九州地方整備局の社会資本整備・管理に多大なるご支援・協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

コンクリート二次製品については、その活用について国土交通省としても積極的に取り組んでおり、良好な品質の確保、環境面への負荷の低減、安全性、施工性、経済性、工期短縮といったコンクリート二次製品の特徴を活かして、防災対策や災害復旧に活用するなど、様々な観点から大きな成果があることを認識しているところとす。とりわけ、建設技術者や技能労働者の人材逼迫など厳しい状況の中で、建設生産システムの省力化・効率化やインフラの老朽化対策にもなっていない技術と認識して

そのようななか、昨年、品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）の一部が改正されました。その目的である現在及



国土交通省九州地方整備局長 金尾 健司

び将来の公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保といった、法改正の理念を現場で実現するためには、今後ますますコンクリート二次製品が重要な役割を果たすものと考えております。

九州地方整備局では、改正品確法の理念を踏まえ、現場作業（施工）の省力化・円滑化を目指した技術ニーズ等を関係業界団体及び現場事務所に求めています。今後、解決すべき作業（施工）の特定及びその解決方法を決定し、次年度において試行工事を予定しています。その中で大型化・機械化・プレキャスト化を望む声が多数寄せられるものと想定しており、高い専門的知識と技術、ノウハウ等を持つ九州コンクリート製品協会会員の皆様のご協力が不可欠と考えております。

さらに、現在、九州コンクリート製品協会と九州地方整備局において災害時における応急対応に関する情報提供等の支援協定の締結に向け事務手続きを進めています。これは、災害発生時に応急対策用のコンクリート二次製品等が不足した場合に九州地

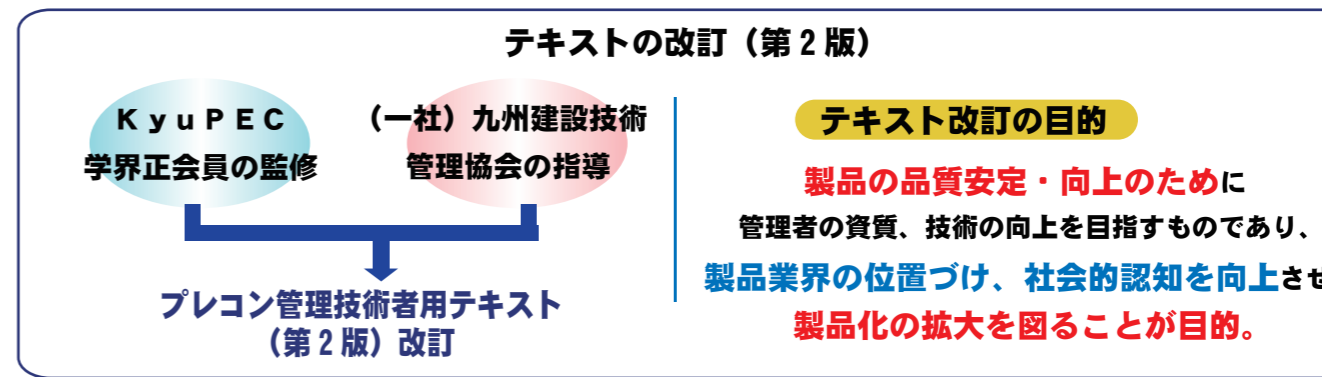


方整備局の要請に基づき、九州コンクリート製品協会より対応可能な二次製品等の情報を提供いただくことで、被害の拡大防止と被災施設等の早期復旧を可能とするものです。この協定により、災害後の迅速かつ円滑な復旧・復興が図れるものと大いに期待しています。

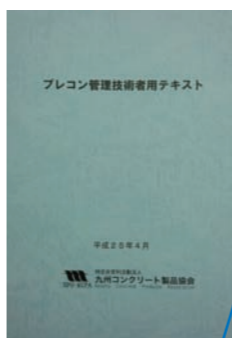
今後とも良きパートナーである皆様と一緒に、安全・安心で活躍にあふれた魅力的な九州の社会資本整備・管理に取り組んでいきたいと考えておりますので、協会の皆様におかれましては、引き続き、高性能・高品質な製品の開発など高い技術力の維持、研鑽に取り組まれることを期待しています。

国土交通省九州地方整備局長 金尾 健司

あわせて、現在第2版が発行されている「プレコン管理技術者用テキスト」については、これまでのご案内してきましたが、あらためて内容について以下の通り説明します。



**改訂版テキストの説明**

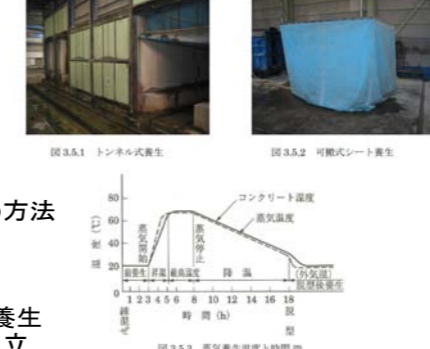


- 第1章 用語集
- 第2章 コンクリート製品の概要
- 第3章 製造
- 第4章 検査
- 第5章 耐久性
- 第6章 苦情処理
- 第7章 安全衛生および公害防止
- 第8章 設備管理
- 第9章 マネジメント

- 第1章 用語集
- 1. 1 コンクリート用語
  - (1) コンクリート
  - (2) セメント
  - (3) 混和材料
  - (4) 骨材
  - (5) 鉄筋
  - (6) 材料の性質
  - (7) 配合
  - (8) 設備・施工
  - 1. 2 設計用語
  - 1. 3 製造および施工用語
  - 1. 4 営業および管理用語

用語	定義
コンクリート	セメント、水、骨材、混和材、混和剤・増粘剤（必要に応じて加える）を構成材料とし、これらを練混ぜその他の方法によって、一体化したものを指す。
プレキャストコンクリート	あらかじめ型枠内に設置したコンクリート。
プレキャストコンクリート	セメント、水、骨材、混和材を構成材料としたコンクリート。（※混和剤・増粘剤を投入していないもの。）
AEコンクリート	AE剤などを用いて微細気泡を含ませたコンクリート。
モルタル	セメント、水、混和材（必要に応じて加える）を構成材料とし、これらを練混ぜその他の方法によって、一体化したものを指す。（※コンクリートに対して骨材を投入していないもの。）
セメントペースト	セメント、水、混和材（必要に応じて加える）を構成材料とし、これらを練混ぜその他の方法によって、一体化したものを指す。（※コンクリートに対して骨材を投入していないもの。）
軽量コンクリート（建築用）	軽集料を用いたり、多量の気泡を含ませたりして、単位容積質量を小さくしたコンクリート。主に高層建築物のコンクリート材料として用いられ、気密性・断熱性を向上させて、1種と2種がある。

- 第3章 製造
- 3. 1 使用材料
- 3. 2 配合
- 3. 3 型枠
- 3. 4 成形・締固め方法
- 3. 5 養生
- (1) 蒸気養生
- (2) オートクレープ養生
- 3. 6 鉄筋加工・組立



**改訂版テキストの目次**

- 第1章 用語集
  - 1. 1 コンクリート用語
  - 1. 2 設計用語
  - 1. 3 製造および施工用語
  - 1. 4 営業および管理用語
- 第2章 コンクリート製品の概要
  - 2. 1 特徴
  - 2. 2 種類
- 第3章 製造
  - 3. 1 使用材料
  - 3. 2 配合
  - 3. 3 型枠
  - 3. 4 成形・締固め方法
  - 3. 6 鉄筋加工・組立
- 第4章 検査
  - 4. 1 品質管理業務
  - 4. 2 受入検査
  - 4. 3 中間検査
  - 4. 4 最終検査
  - 4. 5 出荷検査
- 第5章 耐久性
  - 5. 1 はじめに
  - 5. 2 初期ひび割れ
  - 5. 3 環境作用による劣化要因
  - 5. 4 環境作用（塩害と中性化）による耐久性に関する照査
  - 5. 5 ひび割れの評価
  - 5. 6 プレキャストコンクリートの蒸気養生
- 第6章 苦情処理
  - 6. 1 基本方針
  - 6. 2 クレームの主な発生原因
  - 6. 3 クレーム処理の体系
  - 6. 4 製品に起因するクレーム要因の事例
  - 6. 5 補修方法
  - 6. 6 施工手順
- 第7章 安全衛生および公害防止
  - 7. 1 安全衛生管理
  - 7. 2 公害防止管理
- 第8章 設備管理
  - 8. 1 製造フロー
  - 8. 2 製造設備
  - 8. 3 試験・検査設備
  - 8. 4 特殊設備
  - 8. 5 製造設備及び試験・検査設備の管理
- 第9章 マネジメント
  - 9. 1 はじめに
  - 9. 2 マネジメント計算（原価）
  - 9. 3 原価計算の活用
  - 9. 4 損益分岐点
  - 9. 5 製造原価低減
  - 9. 6 さいごに

**九州建設技術フォーラム2014 Program**

10/22[水]	10/23[木]
12:30～【受付開始】2F ロビー	9:30～【受付開始】2F ロビー
13:00～【開会式】3F メインホール 13:15 実行委員長挨拶	10:00～【技術情報の提供】 1F ロビー／2F 多目的ホール ◎ブース展示 ◎プレゼンテーション ◎新技術相談ほか
13:15～【基調講演】3F メインホール 14:05 「建設技術開発への新たな視点」 講師 京都大学名誉教授 嘉門雅史氏	11:00～【基調講演】3F メインホール 11:50 「高まる建設ロボットへの期待」 ～建設ロボットの現状と今後の展望～ 講師 立命館大学理工学部 教授 環境システム工学科 建山 和由氏
14:05～【技術情報の提供】 17:10 1F ロビー／2F 多目的ホール ◎ブース展示 ◎プレゼンテーション ◎新技術相談ほか	

このフォーラムでは以下の4部署による「技術開発相談窓口」が開設され、参加者からの技術に関する様々な質問に対応しました。

◇国土交通省九州地方整備局 企画部施工企画課  
港湾空港部海洋環境・技術課  
下関港湾空港技術調査事務所  
九州技術事務所  
また、このフォーラムは「土木学会認定継続教育(CPD)プログラム」全国土木施工管理技術士会連合会継続教育(CPD)プログラム

「前頁より」  
このフォーラムでは以下の4部署による「技術開発相談窓口」が開設され、参加者からの技術に関する様々な質問に対応しました。

◇国土交通省九州地方整備局 企画部施工企画課  
港湾空港部海洋環境・技術課  
下関港湾空港技術調査事務所  
九州技術事務所  
また、このフォーラムは「土木学会認定継続教育(CPD)プログラム」全国土木施工管理技術士会連合会継続教育(CPD)プログラム

Q1 開催日数は妥当か？  
↓妥当と思われる。

Q2 展示ブースの広さ等は問題なかったか？  
↓やや狭い（展示スペースとしては良いが説明人員が立てない）

Q3 出展費用は妥当か？  
↓開催規模からすれば妥当と思われる。

Q4 ブース設置で留意した点は何か？  
↓来客者の目線に展示する（目を引く模型・パネルの配置、中に入れるスペース）

Q5 ブース来場者の割合は？  
↓官の福岡関係は多いが、他県をもっと誘致して欲しい。（官・学・民間1:1:2程度）

Q6 ブース来場者に対する出展社としての感想は？  
↓PRや誘致が活発にされており、時間帯に万遍なく来場があったように思われる。また、お世話になつておられるお客様や昨年以上に弊社を知らない企業の方にも多く来て頂き、会社を紹介する場となつてよかった。学生へのリクルート活動にもなつた。

Q7 出展に満足できたか？  
↓ほぼ満足である。事前準備を比較してはどうだろうかと思う。今年は昨年比べて募集期間が1カ月程遅かったため、早めにはいたいただけると有難い。備品類は当日でも調整可能で設営のスタッフの方もいたので助かった。

Q8 その他感想  
↓開催時期を変えて集客状況を比較してはどうだろうかと思う。今年は昨年比べて募集期間が1カ月程遅かったため、早めにはいたいただけると有難い。備品類は当日でも調整可能で設営のスタッフの方もいたので助かった。

今後、当協会は同フォーラムの実行委員として会員社の技術情報の普及啓発に貢献してまいりますので、多数の皆様のご出展をお願い致します。

# 技術委員会

技術委員会では、コンクリート製品業界に存在する様々な技術的諸課題を解決するために、KyupEC学界正会員の協力をいただきながら活動しております。現在取組んでいる「プレコン管理士制度運営」について、H24年度から毎年1回の講習会を開催し、

平成26年3月28日に初めての資格認定試験を実施。今年度も平成27年3月に第2回目の試験を実施することになりましたので、制度及び今後のスケジュールについてあらためて内容を説明します。

## 技術委員会が取組んできた課題

- 1 会員各社が有する技術的諸課題の抽出
- 2 技術的資質向上
- 3 資格取得
- 4 リサイクル建設資材の有効活用
- 5 蒸気養生がコンクリートに及ぼす影響の研究

KyupECの学界正会員の協力を得ながら対応してきた

## これまでのコンクリート製品業界の取組みと課題

会員各社の共通認識

- ★製品の品質向上・維持安定
- ★コスト縮減
- ★新技術・新工法に対する見識向上
- ★マネジメントに対する意識向上
- ★クレームの適確かつ迅速な対応

様々な技術的諸課題を解決し社会に貢献しているが、業界自体の認知度が低いため適正な評価がされていない

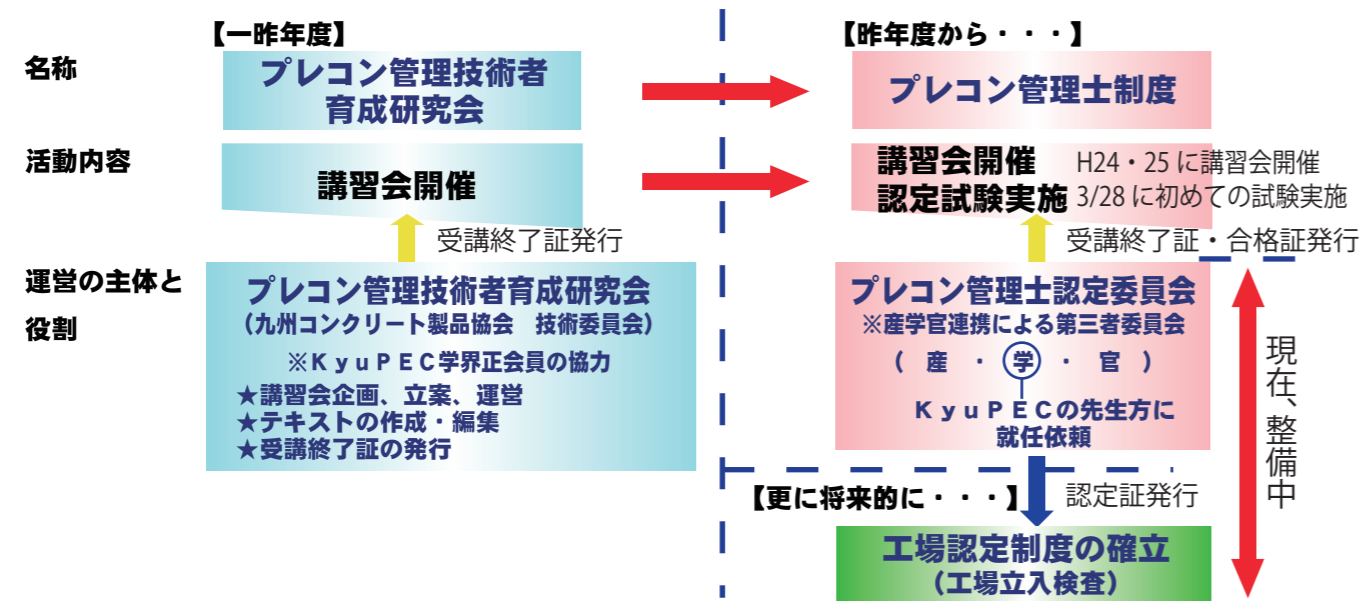
業界の認知度を高めるためには・・・

## プレコン管理士制度の創設と運用により技術的認知度を得ることが必要

この取り組みでは、コンクリート製品業界を取り巻く技術的諸課題の抽出とこれまでの取組み、あわせて現在の大きな課題（とりわけ認知度が低いこと）を複合的に勘案し、「技術的認知度の向上」を図ることとしました。H24年度に、コンクリート製品の製造から施工に至るまでのレベル向上のためのテキスト（プレキャストコンクリート製品の管理技術者用テキスト）を発行し講習会を開催。平成25年度はテキストの改訂（プレコン管理技術者用テキスト：第2版）を

実施したうえで講習会を開催し、3月には初めての資格認定試験を実施しました。この制度運営の地道な取組みを経て、将来的には「プレコン管理士が常駐しており、かつ検査制度に合格したコンクリート製品工場は検査不要！」というお墨付きを行政諸官庁からいただけるようアピールするために、まずは産学連携での取組みを推進することとなりました。なお、プレコン管理士制度の今後のロードマップは以下の通りです。

## プレコン管理士制度創設に向けたロードマップ



# 転換点



佐賀大学大学院工学系研究科 教授 伊藤 幸広 (KyupEC学界正会員)

昨年も豪雨災害の多い年となった。特に台風11号、12号および停滞した前線による豪雨は、各地に甚大な被害をもたらした。8月16日から17日未明にかけて、福知山市の弘法川と法川が相次いで氾濫し、2500棟以上の家屋が浸水した。8月20日、広島市では集中豪雨により大規模な土砂災害が発生し、133棟の家屋が全壊し74名の方が亡くなられた。いずれの地域もこれまでに経験したことがない雨が降り、3時間降水量は福知山市で116mm、広島市で218mmを記録している。また同時期に高知県香美市では、48時間で1028mmの大雨が降っている。これらは、各地域の観測史上初の記録である。

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、7年ぶりとなる第5次評価報告書を昨年公表した。それによると、地球温暖化は疑う余地のない事実であり、その原因は人間活動による可能性が極めて高い(95%以上の可能性)としている。また、気候変動の緩和策を実施しない場合、今世紀末までに世界の平均気温は2.6~4.8℃の範囲内で上昇すると予測している。緩和策とは、バイオエネルギーと炭素の回収・貯留を併用した新しい技術開発を行い、年間CO2排出量ゼロかマイナスまで下げることが指し、現状では実現不可能とする向きも多い。気温の上昇が起これば、豪雨災害の発生回数が増加することは不可避で、西日本では現在の2倍以上の発生回数になるという見方もある。

一科学者としてIPCCの報告には懐疑的であったが、昨今の極端気候を見るにつれ肯定派になりつつある。そんな折、25年前に行っていたある研究のことを思い出した。当時は、都市のヒートアイランド現象が話題になりかけていた頃であった。ヒートアイランド現象の緩和にと、透水性インターロッキングブロックを改良し、毛細管現象で揚水するポーラスモルタルを埋め込み、ブロックと敷砂に保水層を設けた地表面温度低減舗装を開発した。1991年に学会でその成果を始めて発表したが、舗装会社および大学の研究者から嘲笑を受けた。その頃は同種概念の舗装が無いばかりか、舗装が都市の熱環境に悪影響を及ぼすという知見も少なく、さらに、たかが舗装の表面温度を十数度下げただけで何の効果があるのか、という理由からである。しかし、その十年後には舗装会社各社が同様の原理を用いた舗装を提案し、保水性舗装という新たなカテゴリーができた。現在までにコンクリート系、アスファルト系合わせて全国で80万㎡以上の施工実績があるという。

温暖化による気候変動は、全ての産業において大きな転換点となるかもしれない。特に治水に係るものは直接的にその影響を受ける。この先、豪雨災害が頻発すれば、国はこれまでの治水のやり方を見直し、大きく舵を切る

可能性が高い。国土強靱化基本法を持ち出すまでもなく、有史より時の為政者にとって治水は重大な責務の一つであるため、今後長期に渡る大規模な建設投資が発生する事も考えられる。

コンクリート二次製品は治水の分野においても大きな貢献を果たしてきた。しかし、豪雨災害対策としての製品を考えた場合、従来品では何が該当するであろうか。時代の転換点には、新たな発想により大きなビジネスチャンスが生まれるものである。専門家の諸兄から、また嘲笑を受けることを覚悟に豪雨災害用の製品を考えてみた。

一つ目は、被災した護岸は早急に復旧させなければならないことから、国および九州全県統一の復旧ブロックを開発してはどうか? 製造や施工が早いと云う工夫があることは勿論、天災はいつどこで起こるか予測不能のため、型枠は本協会が保有し被災地周辺の工場にレンタルするシステムをとる。国、各県の調整のハードルは高そうだが、発・受注者双方にとってメリットはある。

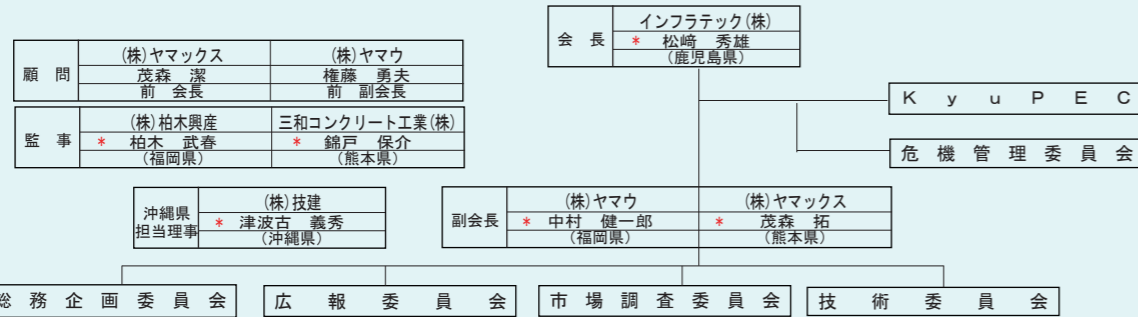
二つ目は、豪雨時には土嚢が必需品だが、土嚢のような機能を持つブロックを考案してはどうか? 人力で運搬でき、連結することにより一体化させることができるブロック。連結の自由度があり任意の形状を構築できるもの、丁度、子供のおもちゃのレゴブロックがイメージに近い。平常時には、自治体の駐車場の表層材などとして活用かつ保管できれば合理的である。

三つ目は、激流により水利施設、橋脚や橋台などが部分的に欠損した場合、これまでは左官や場所打ちの出番であったが、欠損した部分を二次製品として製造し現場で接着・結合するというアイデアはどうか? 具体的には、デジタルカメラで撮影した多視点画像から欠損部の3次元データを起こし、それに基づき3Dプリンターで樹脂製の型枠を作製し、欠損部の製品を製造しようとするものである。最近の3Dプリンターの技術革新は目覚ましく、3Dプリンターのみで建物を製造する試みもなされている。一方で低廉化も進み、1台数万円程度の商品も出ている。本文の主旨からは外れるが、3Dプリンターにより作成した樹脂を型枠に張り付ければ、製品表面に文字や模様、レリーフ画などが低コストで容易に形成できる。また、立体形も得意であるため、ガーデニング用の置物などオーダーメイドの単品生産も可能となる。

維持管理の時代に向かい新設の発注が減る傾向にある。国土交通白書には、維持・更新費に圧迫され、2037年には新設費がゼロになるとの試算もある。羅針盤が指し示す道の先には、近い将来、様々なターニングポイントが待ち受けているが、これらを進化のためのチャンスと捉えたい。柔軟な思考と新しい発想で挑戦しつづけられることを切に望む。

組 織 図

\* は協会理事・監事



【理事会及び各委員会名簿】

理 事 会		総務企画委員会		広 報 委 員 会		K y u P E C	
会長	インフラテック(株) * 松崎 秀雄 (鹿児島県)	委員長	不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県)	担当理事	(株)馬渡商会 * 馬渡 洋三 (佐賀県)	委員	九州共立大学 教授 牧角 龍憲 (福岡県)
副会長	(株)ヤマウ * 中村 健一郎 (福岡県)	副委員長	不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県)	委員	小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県)	"	福岡大学 教授 添田 政司 (福岡県)
副会長	(株)ヤマックス * 茂森 拓 (熊本県)	委員	中里産業(株) 中里 大作 (福岡県)	副委員長	H.O.C(株) * 錦流馬 清規 (長崎県)	"	九州大学 教授 瀧田 秀則 (福岡県)
理事	(株)九コン * 下瀬 博貴 (福岡県)	"	大野コンクリート(株) 大野 雅由 (福岡県)	委員	安永セメント工業(有) 安永 大志 (福岡県)	"	佐賀大学 教授 伊藤 幸広 (佐賀県)
"	小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県)	"	共和コンクリート工業(株) 森 英樹 (福岡県)	"	南九州コンクリート(株) * 田畑 和章 (熊本県)	"	長崎大学 教授 原田 哲夫 (長崎県)
"	不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県)	"	大協コンクリート(株) 藤川 正治 (佐賀県)	"	大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県)	"	熊本大学 教授 村上 聖 (熊本県)
"	(株)馬渡商会 * 馬渡 洋三 (佐賀県)	"	インフラテック(株) * 松山 隆文 (鹿児島県)	"	鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県)	"	大分大学 教授 佐藤 嘉昭 (大分県)
"	不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県)	市場調査委員会	(株)ヤマウ * 中村 健一郎 (福岡県)	担当理事	(株)ヤマックス * 茂森 拓 (熊本県)	"	宮崎大学 名誉教授 中澤 隆雄 (宮崎県)
"	(株)池永セメント工業所 * 池永 征司 (大分県)	担当理事	(株)池永セメント工業所 * 池永 征司 (大分県)	担当理事	(株)九コン * 下瀬 博貴 (福岡県)	"	鹿児島大学 教授 武若 耕司 (鹿児島県)
"	大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県)	委員	本田工業(株) 本田 智 (福岡県)	担当理事	九州中川ヒューム管工業(株) * 酒井 久典 (宮崎県)	危機管理委員会	委員長 インフラテック(株) * 松崎 秀雄 (鹿児島県)
"	九州中川ヒューム管工業(株) * 酒井 久典 (宮崎県)	委員	(株)馬渡商会 平川 康司 (佐賀県)	担当理事	(株)池永セメント工業所 * 池永 征司 (大分県)	副委員長	(株)ヤマウ * 中村 健一郎 (福岡県)
"	鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県)	"	三和コンクリート工業(株) 田島 陽一 (熊本県)	委員	インフラテック(株) 河野 道文 (鹿児島県)	副委員長	(株)ヤマックス * 茂森 拓 (熊本県)
"	(株)技建 * 津波古 義秀 (沖縄県)	"	(株)ヤマウ 宮本 勉 (大分県)	副委員長	(株)ヤマウ 山本 康雄 (福岡県)	委員	(株)九コン * 下瀬 博貴 (福岡県)
"	鹿児島共和コンクリート工業(株) 成尾 芳浩 (鹿児島県)	"	(株)ヤマウ 木上 八市郎 (宮崎県)	委員	麻生商事(株) 隈田 弘幸 (福岡県)	"	小倉セメント製品工業(株) * 上田 泰博 (福岡県)
"	(株)ヤマックス 木田 稔乙 (長崎県)	"	鹿児島共和コンクリート工業(株) 成尾 芳浩 (鹿児島県)	"	(株)ヤマウ 田中 圭司 (福岡県)	"	不二コンクリート工業(株) * 入江 俊介 (佐賀県)
"		"	(株)ヤマックス 木田 稔乙 (長崎県)	"	不二高圧コンクリート(株) 山口 泰範 (熊本県)	"	不二高圧コンクリート(株) * 岸川 健太郎 (熊本県)
"		"		"	H.O.C(株) 内田 展郎 (長崎県)	"	大建コンクリート(株) * 村上 博信 (大分県)
"		"		"	(株)ヤマックス 久野 俊文 (熊本県)	"	九州中川ヒューム管工業(株) * 酒井 久典 (宮崎県)
"		"		"	(株)ヤマックス 松田 学 (熊本県)	"	鹿児島共和コンクリート工業(株) * 尾堂 友紀 (鹿児島県)
"		"		"	(株)池永セメント工業所 高橋 数史 (大分県)	"	(株)技建 * 津波古 義秀 (沖縄県)
"		"		"	九州中川ヒューム管工業(株) 日高 聖治 (宮崎県)	"	



投稿 歓迎 !!

広報委員会では会員の皆様からの投稿をお待ちしています。情報、意見、エッセイ、漫画など、内容は自由です。お気軽にお送りください。なお、紙面の都合上、原稿の一部を削除、変更したりする場合がありますが、その時はご了承ください。

掲載された方には薄謝を差し送ります

特定非営利活動法人 九州コンクリート製品協会事務局  
熊本市中央区水前寺3-9-5 (株)ヤマックス内  
〒862-0950  
TEL 096-381-8999  
http://www.k-conpas.jp

【セメント製品向け販売高の比率と増減率】

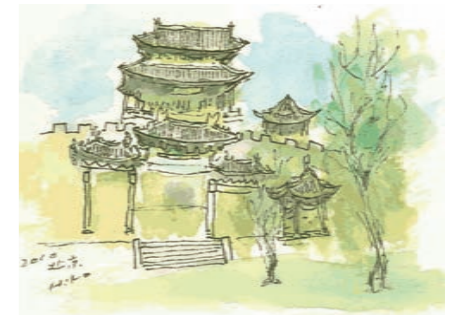
単位：トン、%

年度	福岡県			佐賀県			長崎県			熊本県		
	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率
H23	291,723	17.38	100.0%	42,891	13.76	100.0%	23,149	4.95	100.0%	90,026	13.26	100.0%
H24	308,181	17.26	105.6%	52,265	18.40	121.8%	20,206	4.20	87.2%	87,899	12.41	97.6%
H25	325,494	16.09	111.5%	61,213	18.92	142.7%	21,462	3.91	92.7%	99,575	11.72	110.6%
H24→H25	-	-	105.6%	-	-	117.1%	-	-	106.2%	-	-	113.2%

年度	大分県			宮崎県			鹿児島県			九州計		
	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率
H23	46,864	8.73	100.0%	34,125	6.68	100.0%	73,667	10.16	100.0%	602,445	12.27	100.0%
H24	42,764	7.38	91.2%	32,385	6.64	94.9%	77,465	9.48	105.1%	621,165	12.08	103.1%
H25	53,927	7.84	115.0%	39,814	8.07	116.6%	78,883	9.12	107.0%	680,368	11.75	112.9%
H24→H25	-	-	126.1%	-	-	122.9%	-	-	101.8%	-	-	109.5%

年度	沖縄県			全国計		
	重量	比率	増減率	重量	比率	増減率
H23	44,572	5.92	100.0%	5,300,699	12.81	100.0%
H24	48,068	6.43	107.8%	5,636,169	12.88	106.3%
H25	51,276	6.11	115.0%	6,081,637	12.95	114.7%
H24→H25	-	-	106.6%	-	-	107.9%



④九州地域における建設投資見通しの推移

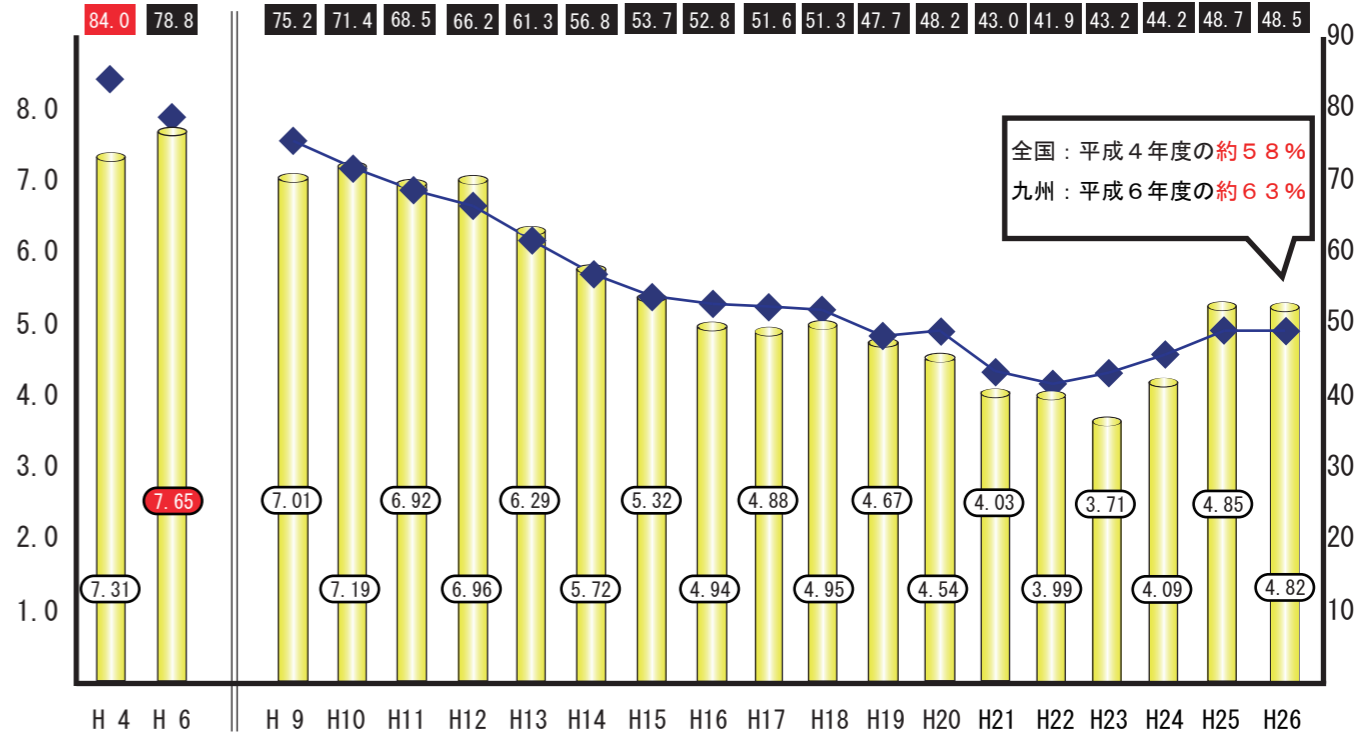
H26年度は全国・九州ともに、建設投資が大幅増加となった前年度から横ばいの見通しとなった。一時(H22年度)は全国・九州ともにピーク時の50%程度まで建設投資が減少したが、東日本大震災の復興や自民党政権における国土強靱化についての政策で官需・民需ともに引き続き底堅い需要が見込まれる。

前年度に引き続き、建設投資については高い水準で推移しているが、実際の工事現場では以前から問題視

されてきた高齢化や熟練工不足が改善されておらず、建設業界からは「急に予算を増やされても対応が難しい」との意見が多く聞かれた。この機会に「品質が保証された工場生産された良質なコンクリート製品を採用することで、現場での労力を減少させ、円滑な事業執行に貢献できる」ということを、コンクリート製品業界全体でPRするべきであり、その結果のプレキャスト化率の向上が実現できると考えられる。

九州：棒グラフ(兆円)

全国：折れ線グラフ(兆円)



【県別生産・出荷量】

単位：トン、%

年度	福岡県				佐賀県				長崎県			
	生産	減衰率	出荷	減衰率	生産	減衰率	出荷	減衰率	生産	減衰率	出荷	減衰率
H23	504,946	100.0	528,332	100.0	143,785	100.0	112,875	100.0	88,862	100.0	89,377	100.0
H24	537,683	106.4	553,198	104.7	152,668	106.1	122,110	108.1	82,098	92.3	81,083	90.7
H25	553,165	109.5	541,588	102.5	169,790	118.0	167,270	148.1	74,522	83.8	80,922	90.5
H24→H25	-	102.8	-	97.9	-	111.2	-	136.9	-	90.7	-	99.8

年度	熊本県				大分県				宮崎県			
	生産	減衰率	出荷	減衰率	生産	減衰率	出荷	減衰率	生産	減衰率	出荷	減衰率
H23	359,593	100.0	360,397	100.0	198,155	100.0	207,912	100.0	229,767	100.0	207,111	100.0
H24	372,704	103.6	364,403	101.1	205,577	103.7	215,619	103.7	250,744	116.1	240,536	116.1
H25	413,111	114.8	426,275	118.2	255,406	128.8	275,567	132.5	287,099	138.6	287,099	138.6
H24→H25	-	110.8	-	116.9	-	124.2	-	127.8	-	119.3	-	119.3

年度	鹿児島県				九州計			
	生産	減衰率	出荷	減衰率	生産	減衰率	出荷	減衰率
H23	348,390	100.0	379,095	100.0	1,873,498	100.0	1,885,099	100.0
H24	378,010	108.5	378,117	99.7	1,979,484	105.6	1,955,066	103.7
H25	426,756	122.4	427,653	112.8	2,147,069	116.0	2,206,374	117.0
H24→H25	-	112.8	-	112.8	-	109.8	-	112.8



③セメント用途別販売実績（全セメント販売高におけるセメント製品向けの販売高：九州沖縄）

【総評】 これまでと同様に、九州・沖縄地区において「プレキャスト化率（表中の”比率”）が全国データより高い地域（福岡県・佐賀県）、同等の地域（熊本県・九州計）、

下回っている地域（長崎県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）という傾向を見ると、北高南低の傾向が顕著である。比率が高い地域と低い地域にどのような違いがあるかについては、今後の分析テーマである。

【地域別傾向】

全国 全体的なセメントニーズが高まっており、その中でも製品向け販売高・比率ともに増加している。また、H23年度→24年度より、H24年度→25年度の増加幅が大きかった。

熊本県 H24年度を底に増加に転じた。市場調査の生産実績と同じ推移である。

九州計 全国と同様にセメント製品向けの販売量及び比率ともに増加している。年度ごとの増減量についても全国と同様、H23年度→24年度よりH24年度→25年度の増加幅が大きかった。

大分県 熊本県と同様、H24年度を底に増加に転じた。市場調査の生産実績と同じ推移である。

福岡県 H23年度以降増加傾向にある。H23年度→24年度→25年度の増加幅はおおよそ均等に5%ずつ増加で推移している。この傾向は市場調査の生産実績とおおよそ同じである。

鹿児島県 H23年度以降増加傾向にある。H23年度→24年度→25年度の増加幅はおおよそ2~5%ずつ増加で推移している。この傾向は市場調査の生産実績より低い増加率だが、傾向は同じである。

佐賀県 H23年度以降大幅増加傾向にある。H23年度→24年度→25年度の増加幅はおおよそ均等に20%ずつ増加で推移している。この傾向は市場調査の生産実績より高い増加率だが、傾向は同じである。

沖縄県 H23年度以降増加傾向にある。H23年度→24年度→25年度の増加幅はおおよそ6~7%ずつ増加で推移している。

長崎県 H24年度を底に増加に転じた。市場調査の生産実績とは合致しないが、引き続き低い水準である。プレキャスト化率が4%を切り、九州で最も厳しい状況であることがうかがえる。



平成26年度 第1回例会 理事会・各委員会発表（ポイント抜粋）

市場調査委員会

①市場調査回収状況

今年度の市場調査回収状況は、会員事業所95%（46/48）非会員事業所67%（42/62）の総計80%（88/110）で、これまでの調査実施で最高の回収率と

なった。これは非会員事業所からの回収が全体的に高くなったことが要因であり、今回の調査でも大手・中堅メーカーからの回収はほぼできており、データの精度が確保されていると考える。

②県別生産・出荷量調査

※調査開始年度（H11）以降、最低の実績であったH23年度と前調査年度（H24）及び今年度調査（H25）を比較。

地域ごとに検証すると、東九州道の恩恵を受けたのが大分県・宮崎県・鹿児島県で主にボックス・擁壁・道路用製品の需要が増加。北部九州豪雨災害の復旧で福岡県・熊本県・大分県の河川護岸用製品と間知ブロックの需要が増加。

【総評】 H25年度の実績は、生産・出荷ともにH23年度と比較すると15%以上の増加、H24年度との比較でも10%前後の増加となった。これまでの最高値であるH11年度と比較すると、最低値であったH23年度には54%程度まで減少していたが、H25年度には63%程度まで持ち直した。増加の要因としては、北部九州豪雨災害の復旧需要や東九州道のスピードアップ、またH24年度以降の予算大幅増が考えられる。

分類ごとに検証すると、増加したのは「ボックス類」「擁壁類」「道路用製品類」「農業用製品類」「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」「パイプ類」で、減少したのは通常分類以外の「その他製品類」だけである。昨年度大幅増となった「その他製品類」は一部の需要が落ちいたため、減少に転じた。

【地域別傾向】

福岡県 生産では全体的に増回傾向で、特に「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」が大幅増となった。これは、昨年度同様に北部九州豪雨災害の復旧需要が影響したと考えられる。出荷は「その他製品類」が大幅な減少で合計値が減少となった。「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」は生産と同様大幅増となった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷ともに60%超まで需要が回復しつつある。

大分県 東九州自動車道整備の影響で「ボックス類」「擁壁類」「道路用製品類」、北部九州豪雨災害の復旧需要で「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」の需要増が顕著であった。ほとんどの分類で増加傾向にあり、活況を呈した地域のひとつであった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷とも60%超まで需要が回復しつつある。

佐賀県 生産・出荷とも全体的に増加となった。特に出荷はH24繰越分がH25に実施されたこともあり、大幅増となった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷ともに60%程度まで需要が回復しつつある。

宮崎県 東九州自動車道整備やバイパス整備の影響で「ボックス類」「擁壁類」「道路用製品類」、南海トラフ地震に備えた河川護岸整備の影響で「河川護岸用製品類」の需要増が顕著であった。ほとんどの分類で増加傾向にあり、大分県ほどではないが活況を呈した地域のひとつであった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷とも65%程度まで需要が回復しつつある。

長崎県 九州で唯一生産・出荷ともに減少が継続している。ほとんどの分類が減少傾向であり、下げ止まりも見えない状況。出荷はH24繰越分がH25に実施されたこともあり、ほぼ前年並みとなった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷ともに30%程度の需要に低迷し続けている。

鹿児島県 東九州自動車道整備やバイパス整備の影響で「ボックス類」「擁壁類」「道路用製品類」の需要増が顕著で、あわせて「農業用製品類」も増加し、全体的に増加傾向であった。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷とも70%超まで需要が回復しつつある。

熊本県 生産・出荷とも「道路用製品類」「農業用製品類」「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」「その他製品類」が増加した。特に、北部九州豪雨災害の復旧需要が影響して「河川護岸用製品類」「間知ブロック類」の需要が増加した。調査開始年度のH11と比較して、生産・出荷とも70%程度まで需要が回復しつつある。

